

令和 6 年度基金事業の事前評価結果

1. 評価の方法	1
2. 事前評価結果集計表	1
3. 事前評価結果	
(1) 事業別	2
(2) 市町交付金（基本枠）事業 対策区分別	3
(3) 市町交付金（基本枠）事業 市町別	10
四日市市	10
桑名市	12
鈴鹿市	14
亀山市	16
いなべ市	18
木曽岬町	20
東員町	22
菰野町	24
朝日町	26
川越町	28
津市	30
松阪市	32
多気町	34
明和町	36
大台町	38
伊勢市	40
鳥羽市	42
志摩市	44
玉城町	46
度会町	48
大紀町	50
南伊勢町	52
名張市	54
伊賀市	56
尾鷲市	58
紀北町	60
熊野市	62
御浜町	64
紀宝町	66

1. 評価の方法

評価委員の評価と内容

内 容	評価点
取組が特に優れている	4
取組が妥当である	3
取組は妥当であるが さらに工夫が必要である	2
現状の取組に 改善が必要である	1

評価委員会の評価と内容

平均値による 評価基準		内 容
$3.5 \leq X \leq 4.0$	A	取組が特に優れている
$2.9 \leq X < 3.5$	B	取組が妥当である
$1.9 \leq X < 2.9$	C	取組は妥当であるが さらに工夫が必要である
$1.0 \leq X < 1.9$	D	現状の取組に改善が必要である

- 10名の委員を3班に分け、班ごとに分担した事業について、各委員が「有効性」「効率性」「公益性」「情報発信度」の各視点で評価（左表）を行い、各委員の評価（点数）を合計し、平均値をとります。

※みえ森と緑の県民税基金積立金事業、みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業、みえ森と緑の県民税制度運営事業については、10名の委員全員が評価を行い、その平均値をとります。

- 算出された平均値に基づき、右表により、評価（A～D）を決定します。

2. 事前評価結果集計表

評価	評価点	事業数			
		有効性	効率性	公益性	情報発信度
A	4.0				0 (3)
	3.9				
	3.8	0 (5)	1 (1)	0 (5)	3 (3)
	3.7	2 (3)		0 (3)	1 (3)
	3.6				
	3.5	11 (9)	1 (7)	7 (13)	2 (7)
	事業数 小計	13 (17)	2 (8)	7 (21)	6 (16)
	割合	10.2%(11.6%)	1.6%(5.4%)	5.5%(14.3%)	4.7%(10.9%)
B	3.4			0 (1)	
	3.3	31 (47)	23 (44)	28 (63)	26 (19)
	3.2	1 (1)	1 (1)	0 (1)	
	3.1		1 (1)	2 (1)	2 (0)
	3.0	69 (77)	82 (60)	80 (55)	58 (54)
	2.9				1 (2)
	事業数 小計	101 (125)	107 (106)	110 (121)	87 (75)
	割合	79.5%(85.0%)	84.3%(72.1%)	86.6%(82.3%)	68.5%(51.0%)
C	2.8	2 (1)	3 (7)	1 (0)	7 (5)
	2.7	9 (3)	9 (24)	9 (4)	17 (41)
	2.6				
	2.5	1 (0)	0 (2)		3 (5)
	2.4				
	2.3	1 (1)	5 (0)	0 (1)	4 (5)
	2.2				
	2.1				
	2.0		1 (0)		3 (0)
	事業数 小計	13 (5)	18 (33)	10 (5)	34 (56)
	割合	10.3%(3.4%)	14.1%(22.5%)	7.9%(3.4%)	26.8%(38.1%)
事業数 合計		127 (147)	127 (147)	127 (147)	127 (147)

※（ ）内は、令和5年度基金事業の評価別事業数

＜参考＞ 班別平均点

班	有効性	効率性	公益性	情報発信度
A	3.2 (B)	3.2 (B)	3.2 (B)	3.1 (B)
B	3.0 (B)	3.0 (B)	3.0 (B)	3.0 (B)
C	3.1 (B)	2.9 (B)	3.0 (B)	2.9 (B)

3. 事前評価結果

(1) 事業別

事業名		有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
①	みえ森と緑の県民税基金積立金事業	3.3	B	3.2	B	3.1	B	3.1	B
②-ア	災害緩衝林整備事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B↓	3.5	A
③	災害に強い森林再生事業（新）	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
④	森林情報基盤整備事業	3.5	A	3.8	A	3.5	A	3.3	B
⑤-ア	みえ森林教育ビジョン推進事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
⑤-イ	みえ森づくりサポートセンター運営事業	3.3	B↓	3.0	B	3.0	B	3.3	B
⑤-ウ	みえ森林教育ステーション運営・整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B↑
⑥	みんなで取り組む三重の森づくり推進事業（新）	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
⑦	生物多様性推進事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	2.7	C↓
⑧	森林とふれあう自然公園環境整備事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
⑨-ア-a	流域防災機能強化対策事業	3.3	B↓	3.0	B↓	3.3	B↓	3.0	B↓
⑨-ア-b	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.0	B↑	3.0	B	3.0	B	3.0	B↑
⑨-ア-c	県民参加の植樹祭事業（新）	3.3	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
⑨-イ	みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業	3.2	B	3.0	B	3.0	B	2.9	B
⑩	みえ森と緑の県民税制度運営事業	3.0	B	3.1	B	3.1	B	3.1	B

※↑は、昨年度から評価が上がった事業を、↓は、昨年度から評価が下がった事業を示しています。

(2) 市町交付金（基本枠）事業 対策区分別

対策区分１：土砂や流木による被害を出さない森林づくり ※３市町３事業									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
津市	津市林地残材搬出促進事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
度会町	流倒木撤去事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
大紀町	溪流倒木等処理事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B

対策区分２：暮らしに身近な森林づくり ※21市町31事業									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
四日市市	危険木等除去支援事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	3.0	B
四日市市	里山・竹林環境保全支援事業	2.7	C	2.7	C	2.7	C	2.7	C
鈴鹿市	森林・竹林環境保全促進事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
鈴鹿市	暮らしを守る森林保全事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	3.3	B
いなべ市	危険木の除去事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
いなべ市	里山竹林環境保全支援事業	2.7	C	2.3	C	2.7	C	2.7	C
東員町	危険木伐倒等業務	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
菰野町	病虫害被害木伐採搬出事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	3.0	B
朝日町	里山・竹林環境保全支援事業（あさひ竹プロジェクト）	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
松阪市	里山の森林安全安心対策事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
明和町	松林整備事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	2.5	C
大台町	集落周辺等危険木伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
伊勢市	森林整備事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	2.3	C
鳥羽市	危険木伐採業務	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B

対策区分２：暮らしに身近な森林づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
鳥羽市	危険木伐採事業費補助金事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
志摩市	樹木伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
志摩市	松くい虫防除事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
大紀町	生活環境林整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
南伊勢町	危険木除去事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
名張市	危険木伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
名張市	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	2.8	C
名張市	人家裏危険木伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
伊賀市	みんなの里山整備活動推進事業	3.5	A	3.5	A	3.5	A	3.0	B
伊賀市	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
伊賀市	危険木伐採事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	2.8	C
尾鷲市	人家裏危険木伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
紀北町	危険木伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
紀北町	集落周辺森林（里山）整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
熊野市	小・中学校危険木伐採・枝切事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
御浜町	町道危険木伐採事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	2.8	C
紀宝町	生活環境林整備事業	3.0	B	2.8	C	3.0	B	3.0	B

対策区分３：森を育む人づくり ※19市町31事業									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
鈴鹿市	里山保全ボランティア育成事業	3.0	B	3.3	B	3.0	B	3.7	A
鈴鹿市	森と緑の生涯学習講座	3.7	A	3.0	B	3.0	B	3.3	B
鈴鹿市	緑に親しむ記念樹配布事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
亀山市	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
亀山市	森と木材のふれあい事業（森の講座）	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.3	C
亀山市	森と木材のふれあい事業（竹あかり製作）	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
いなべ市	中学校卒業記念品配布事業	3.3	B	3.3	B	3.0	B	3.0	B
いなべ市	自然環境保全事業	3.0	B	2.0	C	2.7	C	3.0	B
東員町	森林教育授業	3.0	B	2.3	C	3.0	B	3.0	B
朝日町	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
川越町	小中学校自然教室	3.3	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
津市	夏休み森と緑の親子塾開催事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
津市	パートナーシップ協定に基づく森林環境教育事業	3.0	B	3.0	B	2.7	C	3.0	B
津市	美里水源の森「林業体験」事業	3.0	B	2.3	C	2.7	C	3.0	B
松阪市	松阪の木魅力発信活動事業	3.0	B	3.3	B	3.5	A	3.8	A
多気町	木とふれあう教育支援事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
大台町	森林環境教育事業①	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.5	A
大台町	森林環境教育事業②	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.8	A
志摩市	森と緑ふれあい事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B

対策区分3：森を育む人づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
玉城町	森林環境教育・木育事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
玉城町	森林環境教育事業（森林教育イベント）	3.0	B	2.7	C	3.3	B	3.3	B
度会町	森林環境教育推進事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
南伊勢町	森林環境教育事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
名張市	森林環境教育推進事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.0	B
伊賀市	伊賀の森っこ育成推進事業	3.5	A	3.3	B	3.5	A	3.3	B
伊賀市	地域の森と緑のつながり支援事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
伊賀市	森のやすらぎ空間整備事業（伊賀の木活用人材育成）	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
伊賀市	木づかい木育推進事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
尾鷲市	尾鷲ヒノキを活用した保育園児等への山育事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
紀北町	森林環境教育活動事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
紀宝町	森と緑の環境教育事業	3.0	B	3.3	B	3.5	A	3.3	B

対策区分4：森と人をつなぐ学びの場づくり ※17市町28事業									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
四日市市	一般備品整備事業（小学校）	3.3	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
四日市市	一般備品整備事業（中学校）	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
鈴鹿市	鈴鹿市立白子中学校図書室用木製品設置及び森林教育推進事業	3.7	A	3.0	B	3.0	B	3.3	B
亀山市	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（森林公園やまびこ）	2.7	C	3.0	B	3.0	B	2.0	C
亀山市	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（鈴鹿峠自然の家）	2.7	C	3.0	B	3.0	B	2.0	C

対策区分４：森と人をつなぐ学びの場づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
亀山市	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（総合保健福祉センターあいあい）	2.7	C	3.0	B	3.0	B	2.0	C
亀山市	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（関認定こども園アスレ）	2.7	C	3.0	B	3.0	B	2.7	C
東員町	公共施設等の備品等購入	2.7	C	3.0	B	2.7	C	2.7	C
菰野町	幼児期から木に親しむ木育推進事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
菰野町	保育所等木製遊具購入補助事業	3.0	B	2.7	C	2.7	C	2.7	C
川越町	川越南小学校 図工室机・椅子購入	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
川越町	川越北小学校多目的用木製机整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
川越町	川越幼稚園屋外用木製机整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
津市	子育て支援センターにおける木育環境整備事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
松阪市	森林環境学習事業	3.3	B	3.3	B	3.0	B	3.8	A
松阪市	保育園木育推進事業	3.5	A	3.3	B	3.0	B	3.0	B
多気町	木とふれあう環境づくり事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	2.5	C
明和町	学校木製備品購入事業	2.8	C	3.0	B	3.0	B	2.5	C
伊勢市	絆の森整備事業	2.7	C	2.3	C	2.7	C	2.7	C
志摩市	磯部ふれあい公園東屋設置工事	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
度会町	木材とふれあう場づくり推進事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
南伊勢町	保育園木製備品購入事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
名張市	学校林整備事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.0	B
伊賀市	幼児教育・保育施設木製遊具整備事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.0	B

対策区分４：森と人をつなぐ学びの場づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
尾鷲市	クップを用いた地元産材に触れ合う場の創出事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
尾鷲市	尾鷲中学校学習机・椅子整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
尾鷲市	木とふれあう学校環境づくり事業	3.0	B	3.3	B	3.0	B	3.0	B
尾鷲市	木とふれあう保育環境づくり事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B

対策区分５：地域の身近な水や緑の環境づくり ※13市町19事業									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
桑名市	播磨2号緑地里山整備事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C
桑名市	竹林環境整備事業	3.3	B	2.7	C	3.0	B	3.0	B
桑名市	多度山ハイキングコース安全性・快適性向上事業	3.3	B	2.7	C	3.0	B	2.3	C
鈴鹿市	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
鈴鹿市	緑と人を育む長太の大楠再生プロジェクト	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
木曽岬町	暮らしを守る緑保全事業	3.3	B	3.3	B	3.0	B	3.0	B
朝日町	教育文化施設ビオトープ再生整備事業	2.7	C	3.0	B	3.0	B	3.0	B
松阪市	都市公園整備事業	2.8	C	3.0	B	3.0	B	2.8	C
明和町	木造施設等設置事業	2.5	C	3.0	B	3.0	B	2.3	C
大紀町	大平つつじ山整備事業	2.3	C	2.3	C	2.7	C	3.0	B
名張市	森林公園等環境活用整備事業	3.0	B	2.8	C	3.0	B	2.8	C
名張市	桜並木保全管理事業	3.0	B	2.8	C	3.0	B	2.8	C
名張市	国定公園環境整備事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	2.8	C

対策区分５：地域の身近な水や緑の環境づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
尾鷲市	森と野鳥の学びの場づくり事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
尾鷲市	中村山公園ほか整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
紀北町	緑の植樹活動事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
熊野市	森とふれあいの場拠点づくり事業	3.5	A	3.0	B	3.5	A	3.3	B
御浜町	森林公園等環境整備事業	3.5	A	3.3	B	3.5	A	3.0	B
紀宝町	木質整備事業	3.0	B	3.0	B	2.8	C	3.0	B

(3) 市町交付金（基本枠）事業 市町別

実施要領第10号様式（その1）（評価委員会資料）

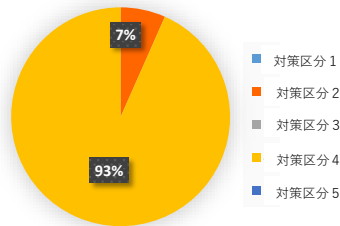
令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

市町名	四日市市	三重県
人口（人）	300,342	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	11.8％	11.4％
森林面積(ha)	2,805.64	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	2,497.56	348,212.01
森林率(％)	14％	64％
都市公園面積（㎡/人口）＊3	10.3	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）
＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	危険木等除去支援事業	233,000	151,000		151,000			
2	2	里山・竹林環境保全支援事業	1,506,293	1,129,000		1,129,000			
3	4	一般備品整備事業(小学校)	9,398,400	9,398,400				9,398,400	
4	4	一般備品整備事業(中学校)	8,619,600	8,619,600				8,619,600	
計			19,757,293	19,298,000	0	1,280,000	0	18,018,000	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当 額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	267本	10,365,300	5,182,650	電力会社等のライフライン事業者、三重県及び本市の三者が協定を締結し、ライフライン事業者が事前に行った調査結果に基づき、本市が森林所有者の承諾を得て、台風等の倒木被害により停電が発生し得るおそれのある危険木の伐採を行う。
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	本市は、東側に伊勢湾、西側に鈴鹿山脈に接し伊勢湾沿いには石油化学工業等の発達した中核都市です。四日市市総合計画の基本構想で「環境・防災先進都市」を将来都市像の一つに位置付けており、公害の歴史と教訓から、豊かな環境を基本とした都市整備と、防災力強化を両軸に、快適性と安全・安心が高い水準で保たれたまちづくりを目指しています。 みえ森と緑の県民税市町交付金を活用することにより、都市公園や地域の里山や竹林を整備し、緑にふれあう環境を整えるとともに、公共施設等での県産材の利用を進めることにより、森への関心、木材利用の意義への理解を深め、緑を身近に感じ大切にしていけることのできる社会づくりを推進します。
事業実施により期待される効果	森林整備を行ったことにより、地域住民の生活の安全性が確保された。木製品を導入したことにより、森林や木材について学び、ふれあう場を提供することができた。
情報発信への取組	みえ森と緑の県民税を活用した事業であることの周知を図るためHPの掲載や、導入した木製品へロゴマークのプレートをつけた。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）										
・事業1の主な経費内訳が自治会ごとの事業費補助の金額の記載だけなのでわかりづらいです。（評価の視点のポイント主な経費内訳事例1危険木伐採参照） ・事業2の3つある里山保全活動団体がされている作業内容がどのような作業なのかかわかりづらいと感じました。P35の経費内訳には機械代、燃料費などとなっていますが、どのような整備事業をされたのかそれぞれわかるようにしていただけたらと思います。（評価の視点のポイントの記載例事例4参照） ・事業3と4の小・中学校の一般備品整備事業において、事業の目的にもあるような「森林教育としての効果を高める取り組み」につながるよう引き続き期待したいです。 ・里山・竹林環境保全事業では各団体の経費内訳につき記載されており、理解しやすい資料となっていました。機械代というのが購入費用であるのか、賃借費であるのかかわかるとなおいと思います。木製品の購入については、それを利用した、あるいは関連した森林学習とセットの事業としていただくとより理解が進むと思います。 ・昨年度の意見としてもあがっていますが、今年度についても3と4の事業について「小学校」と「中学校」、事業量や事業費が違っただけで、同じ文章での報告となっています。趣旨や目的が同様なのでそうなるのかなとも思いますが、特記事項の受益者の反応等がまったく同じ言葉であるのはどうしてかなと思います。とても素敵なものなので、実際に使用している、学習活動を行った子どもたちの感じていることは多数あるかと想像します。要約していただいた言葉なのかもしれませんが、報告していただく方が実際にキャッチした子どもたち、保護者、地域の方の様子や声がわかる報告を期待します。みえ森と緑の県民税を使ってこれだけの姿・実績があると報告し、継続し、次につなげていくこと、そのこと自体が子どもたちの森林教育への充実につながるのではないかと考えます。										

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木等除去支援事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	3.0	B
2	2	里山・竹林環境保全支援事業	2.7	C	2.7	C	2.7	C	2.7	C
3	4	一般備品整備事業(小学校)	3.3	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
4	4	一般備品整備事業(中学校)	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

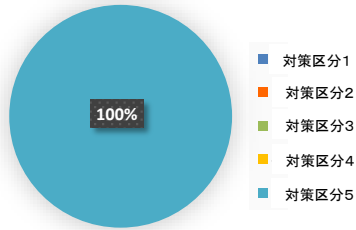
市町名	桑名市	三重県
人口（人）	135,832	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	12.2％	11.4％
森林面積(ha)	2,960.03	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	2,871.36	348,212.01
森林率(％)	22％	64％
都市公園面積（㎡/人口）＊3	9.5	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 （円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	5	播磨2号緑地里山整備事業	534,000	534,000					534,000
2	5	竹林環境整備事業	5,850,910	5,695,000					5,695,000
3	5	多度山ハイキングコース 安全性・快適性向上事業	27,863,000	27,862,959					27,862,959
		基金積立	6,735,000	6,735,000					6,735,000
計			40,982,910	40,826,959	0	0	0	0	34,091,959

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 （円）	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	里山整備による緑と身近にふれあう環境づくりや、竹林整備を実施する団体に対する補助、学生向けの森林環境教育を通じて、市内の森林・緑地の安全な管理を促進し、防災、自然環境保護、獣害対策等に繋げることで、市民の豊かな生活に寄与する。 また、桑名市北部に位置する多度山は、古くから地域住民や観光客が気軽に訪れることができる身近な山として親しまれてきたが、遊歩道や見晴台の整備等が充分に行えていない状況にあることから、環境整備を実施する。 県民税の活用による環境整備を推進し、地域住民や来訪者に森林への関心を持っていただくことで、県民全体で森林を支える社会づくりを推進するとともに、県民税がどの様に県民の暮らしに役立てられているかを広報等によって周知を行う。
事業実施により期待される効果	事業実施により、地域住民や公園利用者、児童、生徒に森林を身近に感じていただくことで、森林の持つ機能や、森林整備の必要性についての理解を深めてもらう。
情報発信への取組	みえ森と緑の県民税の活用方法について広報誌とホームページにより周知を実施し、「災害に強い森林づくり」や「県民全体で森林を支える社会づくり」については、パネル展示を実施。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・事業1の主な経費内訳の諸雑費として燃料代、消耗品とありますが消耗品がどのようなものか記載してほしいです。（評価の視点のポイントの記載例事例4参照） ・事業2の竹林環境整備事業は対策区分5の事業になっていますが、高校生や小学生に森林環境育を行っていますので、その部分是对策区分3の事業になるのではないかと思います。また小学校と高校に対する森林教育事業はそれぞれの報償費、資材費などの記載をお願いしたいです。（評価の視点のポイント主な経費内訳事例2森林教育参照） ・各事業の情報発信の様子がわかりづらいので、広報誌やHPに記事が掲載されているのであれば、その添付などをお願いしたいです。	
・HP掲載内容や現場での記載の状況などを写真とともに紹介していただくと、より理解ができると思います。また、その中で税の趣旨との関係についてもお示しいただくとより市民の理解が深まると思います。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	5	播磨2号緑地里山整備事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	2.7	C
2	5	竹林環境整備事業	3.3	B	2.7	C	3.0	B	3.0	B
3	5	多度山ハイキングコース 安全性・快適性向上事業	3.3	B	2.7	C	3.0	B	2.3	C
		基金積立	—	—	—	—	—	—	—	—

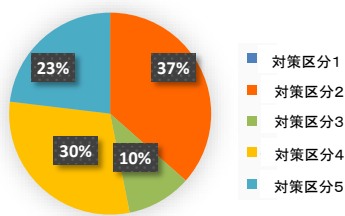
令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

市町名	鈴鹿市	三重県
人口（人）	191,412	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	11.2％	11.4％
森林面積(ha)	3,596.55	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	3,420.75	348,212.01
森林率(％)	18％	64％
都市公園面積（㎡/人口）＊3	10.7	10.7

- ＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）
＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	森林・竹林環境保全促進事業	2,357,871	2,357,860		2,357,860				
2	2	暮らしを守る森林保全事業	3,446,958	3,446,958		3,446,958				
3	3	里山保全ボランティア育成事業	355,884	335,857			335,857			
4	3	森と緑の生涯学習講座	790,335	790,335			790,335			
5	3	緑に親しむ記念樹配布事業	522,608	522,608			522,608			
6	4	鈴鹿市立白子中学校図書室 用木製品設置及び森林教育 推進事業	4,765,857	4,765,857				4,765,857		
7	5	ふるさとの木（名木古木） 保存活用事業補助事業	2,375,857	2,375,857					2,375,857	
8	5	緑と人を育む長太の大楠再 生プロジェクト	1,295,857	1,295,857					1,295,857	
計			15,911,227	15,891,189		5,804,818	1,648,800	4,765,857	3,671,714	

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	11本	4,532,880	2,266,440	台風などの倒木被害により、ライフラインを寸断する恐れのある樹木を事前に伐採
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
本市は、東に伊勢湾、西に鈴鹿山脈があり、市の中央には鈴鹿川が流れる、豊かな自然環境の下で発展してきた都市です。この恵まれた自然環境は、市民生活や経済活動に多大な恩恵をもたらしており、美しい風景や豊かな生態系は、本市にとって貴重な財産であるともいえます。 このことを踏まえ、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、市民に親しまれている海岸林の保全や、利用頻度の高い公共施設等への県産材利用を通じ、多くの市民が森林の恩恵を享受することができ、森や緑の大切さを学ぶ機会を設け、県民全体で森林を支える社会づくりを推進する事業を進めていきます。
事業実施により期待される効果
子どもを中心とした市民を対象に、森林について学ぶ場や緑や木にふれあう機会を提供することにより、森や緑の大切さや森林環境への理解を深めることができ、森林づくりに積極的に関わる人材の増加が期待できる。地域にある身近な緑や里山を大切にすることは、自然環境とふれあう場の確保に繋がり、自然と共生する意識がうまれる。 また、人家周辺の森林や樹木を適切に管理することで、市民の暮らしの安心・安全を確保することができる。
情報発信への取組
本市におけるみえ森と緑の県民税の活用状況について市広報への記事の掲載及びチラシの折込を行うことで市民への周知を図った。 また、事業実施の際は、県民税のぼりやロゴマークを掲出するなどして、みえ森と緑の県民税活用事業であることの周知に努め、啓発物品を配布することでみえ森と緑の県民税制度の理解を深めてもらえるよう取り組んだ。 県民税の県内での活用事例紹介や森林のもつ多様性についての展示を市民ギャラリーにて実施し、来庁者への情報発信を行った。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・事業2の暮らしを守る森林保全事業の主な経費内訳（P77）は枯れ松の伐採費、処分費、諸経費という項目になっているので、伐採搬出の際に使用した機械などがあれば記載してほしいです。（評価の視点のポイント主な経費内訳事例1危険木伐採参照） ・事業4の森と緑の生涯学習講座の主な経費内訳（P90）は報償費や材料費などをもう少しわかりやすく記載してほしいです。（評価の視点のポイント主な経費内訳事例2森林教育参照） ・色々な事業されていて、対策区分別に見てもバランスよく事業をされていると感じます。町のHPにそれぞれの事業の紹介や案内をされているのを拝見して、みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広められていると感じました。 ・作成されたチラシがとても優れていると感じました。このチラシで、事業が税の趣旨にどう合致するのかが示されていると思います。生涯学習については非常にパフォーマンスが高い事業になっていると思います。場合によっては、公民館などにももう少し予算をつけていただいてもよいのではないのでしょうか。また、白子中学校では木でできた机の購入とともに、生徒に寄るグループワークが行われている点が良いと思います。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	森林・竹林環境保全促進事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
2	2	暮らしを守る森林保全事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	3.3	B
3	3	里山保全ボランティア育成事業	3.0	B	3.3	B	3.0	B	3.7	A
4	3	森と緑の生涯学習講座	3.7	A	3.0	B	3.0	B	3.3	B
5	3	緑に親しむ記念樹配布事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
6	4	鈴鹿市立白子中学校図書室用木製品設置及び森林教育推進事業	3.7	A	3.0	B	3.0	B	3.3	B
7	5	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
8	5	緑と人を育む長太の大楠再生プロジェクト	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

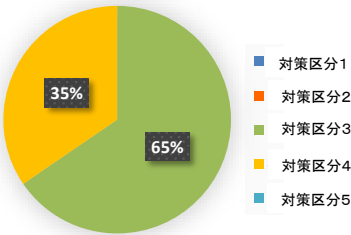
市町名	亀山市	三重県
人口（人）	49,438	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	12.1%	11.4%
森林面積(ha)	12,012.75	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	11,659.13	348,212.01
森林率(%)	63%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	13.4	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	3	森と木材のふれあい事業 （森林づくり協議会）	1,033,564	1,000,000			1,000,000			
2	3	森と木材のふれあい事業（森の講座）	498,300	498,300			498,300			
3	3	森と木材のふれあい事業 （竹あかり製作）	4,840,000	4,840,000			4,840,000			
4	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（森林公園やまびこ）	305,470	305,470				305,470		
5	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（鈴鹿峠自然の家）	938,322	938,322				938,322		
6	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（総合保健福祉センターあいあい）	1,298,000	1,298,000				1,298,000		
7	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（関認定こども園アスレ）	803,000	803,000				803,000		
計			9,716,656	9,683,092	0	0	6,338,300	3,344,792	0	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
本市は、北勢地域随一の林業地帯として古くからスギ・ヒノキを主とした人工林の整備が進められ、良質な木材の生産・供給が行われてきました。しかし、林業を取り巻く情勢は厳しく、採算性の悪化、高齢化等による担い手不足のため、放置される森林が増加したことで森林の機能低下が進んでいます。このため、既存の財源を活用し、林業生産活動の支援や地域材を活用した商品を「亀山ブランド」として認定することで森林整備や地域材の利用促進に取り組んでいます。今後も、森林の有する様々な働きを発揮させるための森林整備や地域材の利用を促進するためには、市民の森林に対する理解と関心を深めることが大切です。このことから、県民税を活用し、森林や木材について学び、ふれあい、親しむ環境をつくることや、暮らしに身近な森林整備を進め、地域の生活環境の向上を図ります。

事業実施により期待される効果	・協議会が工夫を凝らしイベントや講座を開催することで多様な参加者が森林とふれあう場を提供できる。 ・森林や木材について学び、ふれあい、親しむ環境をつくることで市民の森林に対する理解と関心を深める。 ・森林公園やまびこの施設整備等を行うことで、子どもから大人まで安全・安心して施設を利用することができることと、森林や木にふれあう場や緑に親しむ環境を提供できる。 ・亀山市産の竹あかりを通じて、地域住民が竹の魅力に触れることをきっかけに、荒廃しつつある竹林の現状に対する問題意識を高める。 ・鈴鹿峠自然の家、総合保健福祉センターに三重県産材を使用した備品を導入、また関認定こども園アスレに三重県産材を使用したキッズハウスを設置することで自然の恵みを体感し、森林づくりへの意識の醸成につながる。
情報発信への取組	・事業実施時に看板やのぼり旗の掲示、パネル展示、HPや市広報紙の掲載 ・事業実施時にパンフレットや啓発物品を配付し県民税の説明を行う ・イベント時に県民税ロゴマークを表示したスタッフベストを着用し活動 ・導入木製品に県民税ロゴマークの焼印やシールを添付し、事業終了後も市民の目に触れ県民税を周知できるようにする。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・全体的に情報発信の内容の説明が少ないと感じました。市のHPや広報誌に掲載されたのであれば、どのように情報発信されたかがわかる資料の添付をお願いしたいです。 ・情報発信に関して、事業が森と緑の県民税の趣旨の中にどう位置づけられるのか、という発信などを市HPではいかがでしょうか。また、単なる物品購入、施設の整備にとどまらぬ事業としていただくために、森林教育的な内容を含む事業にさせていただくと良いと思います。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	3	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
2	3	森と木材のふれあい事業（森の講座）	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.3	C
3	3	森と木材のふれあい事業（竹あかり製作）	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
4	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（森林公園やまびこ）	2.7	C	3.0	B	3.0	B	2.0	C
5	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（鈴鹿峠自然の家）	2.7	C	3.0	B	3.0	B	2.0	C
6	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（総合保健福祉センターあいあい）	2.7	C	3.0	B	3.0	B	2.0	C
7	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（関認定こども園アスレ）	2.7	C	3.0	B	3.0	B	2.7	C

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

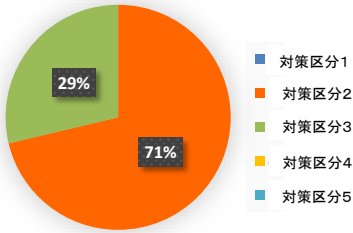
市町名	いなべ市	三重県
人口（人）	44,123	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	11.9%	11.4%
森林面積(ha)	12,794.45	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	11,724.89	348,212.01
森林率(%)	58%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	8.3	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木の除去事業	3,479,748	3,479,748		3,479,748				
2	2	里山竹林環境保全支援事業	4,297,160	4,297,160		4,297,160				
3	3	中学校卒業記念品配布事業	914,650	914,650			914,650			
4	3	自然環境保全事業	2,952,400	2,216,442			2,216,442			
計			11,643,958	10,908,000	0	7,776,908	3,131,092	0	0	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	0	0	0	
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	
県民参加の植樹祭事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	いなべ市は北部と西部を岐阜県と滋賀県に接し、東部と南部は桑名及び四日市圏域に接している。市域は、北に養老山地、西に鈴鹿山脈をいだし、市のほぼ中央に流れる員弁川を挟んで緑豊かな自然と平野に囲まれている。 緑豊かないなべ市でみえ森と緑の県民税市町交付金を活用して、木のぬくもりに触れる機会を作り、身近な森林について目を向けてもらい、森林・木材の意義、大切さを再認識してもらう。また豊富な森林資源を活用し、自然と調和した環境づくりを目指し、整備が進んでいない森林を整備することにより、安心・安全な暮らしを確保する。
事業実施により期待される効果	間伐材を活用した箸の配布を行うことで、森林資源の活用と日常的に木に触れる機会を作り出すことができ、将来的に持続可能な素材を選べる人づくりに繋がることが期待される。また、住民自らが危険木除去を行うことで、身近な危険木の認識とその除去についての意識向上につながった。里山竹林環境保全支援事業では補助金を交付することで、活動範囲の拡大・活動内容の向上を図ることができ、市内の里山整備促進が期待できる。
情報発信への取組	市HPにおいて、みえ森と緑の県民税の概要を伝えるとともに、本事業の事業効果を写真と共にわかりやすくPRしている。中学校卒業記念品配布事業では、生徒にメッセージカードを配布し、県産材を利用する大切さを伝えている。危険木除去事業では市内自治会長に事業案内文書を送付することや走道路管理担当課からの情報発信をすることで、みえ森と緑の県民税を活用して周辺住民の生活の安全を確保し、暮らしに身近な森林づくりに寄与していることを伝えている。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・里山竹林環境保全支援事業では市内の9団体が整備活動を行っている取組に補助を出す事業となっていますが、事業量や経費内訳のところに、それぞれの事業内容や活動団体の経費の使途の記載がないので事業内容の見える化ができてないと感じました。市内9団体の活動がどのような整備活動なのかわかりやすく記載してほしいです。（評価の視点のポイントの記載例事例4参照） ・危険木の除去に関し、地域住民の参画があり良いと思います。情報発信につき、資料中「危険木伐採における補助事業について」などに、県民税の趣旨や目的、方針と対策などをお書きになってはいかがでしょうか。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木の除去事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
2	2	里山竹林環境保全支援事業	2.7	C	2.3	C	2.7	C	2.7	C
3	3	中学校卒業記念品配布事業	3.3	B	3.3	B	3.0	B	3.0	B
4	3	自然環境保全事業	3.0	B	2.0	C	2.7	C	3.0	B

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

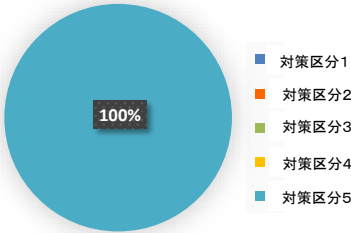
市町名	木曽岬町	三重県
人口（人）	5,752	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	8.2%	11.4%
森林面積(ha)	0.00	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	0.00	348,212.01
森林率(%)	0.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	11.8	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	5	暮らしを守る緑保全事業	10,041,900	7,000,000					7,000,000	
計			10,041,900	7,000,000	0	0	0	0	7,000,000	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	木曽川の河口部に位置する当町は森林率が0％と、日常生活の中で森林にふれあう機会がなく町内の鍋田川線桜並木は、重要な観光資源であると同時に地域住民が緑にふれあい自然環境の大切さを知る貴重な場となっております。これらを踏まえ、鍋田川線桜並木を特定外来種クビアカツヤカミキリの食害から守るため、防除業務や被害木の伐採を行って被害防止対策を実施しました。
事業実施により期待される効果	鍋田川線桜並木を特定外来種クビアカツヤカミキリの食害から守るため、全木を対象にした調査と台帳整備、樹幹注入を行うことでクビアカツヤカミキリの被害低減を狙い、地域住民や道路利用者の安全確保と貴重な自然環境の保護につながることが期待できる。
情報発信への取組	町イベント時（第9回KISOSAKIオータムフェスタ2024（9月8日）、伸びゆく木曽岬町のふれあい広場2025（3月16日））に防除業務の内容と目的を掲示し、町民に対し県民税が安全や自然環境の保全に役立てられていることをPRしたほか、庁舎内ポスター掲示などでも同内容を紹介し、より多くの人の目に留まるよう取り組んでいる。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・ 情報発信では庁舎内にポスターを掲示したり、イベントで啓発物品の配布などをされています。HPや広報などを使って駆除方法などを広めるのも有効的だと思います。 ・ 住民の皆さんの意見を吸い上げ反映する、また結果について住民の皆さんと共有しそれをまた意見吸い上げにつなげていくような繰り返しのプロセスが加わると更に良くなると思います。共感、協働での事業となると良いと思います。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	5	暮らしを守る緑保全事業	3.3	B	3.3	B	3.0	B	3.0	B

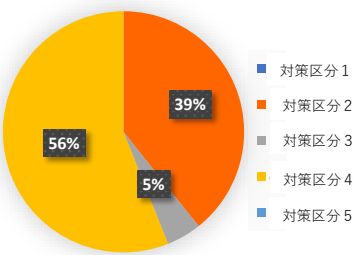
令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

市町名	東員町	三重県
人口（人）	25,671	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	13.6%	11.4%
森林面積(ha)	153.78	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	153.78	348,212.01
森林率(%)	7%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	15.5	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）
＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木伐倒等業務	2,374,400	2,293,000		2,293,000				
2	3	森林教育授業	290,950	273,000			273,000			
3	4	公共施設等の備品等購入	3,269,420	3,269,000				3,269,000		
計			5,934,770	5,835,000	0	2,293,000	273,000	3,269,000	0	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	伐採調査1式	2,200,000	1,100,000	
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	本町では、北部を中心に名古屋や四日市といった近郊都市部のベッドタウンとして開発が進み、現在森林率が8％程度と森林が少なく、また各地に分散している状況ですが、森林は地域住民の憩いの場として日常的に活用されてきました。 このため、危険木の除去など暮らしに身近な森林の整備を進め、地域住民が安全に安心して地域の里山にふれ、森や木の大切さへの理解を深める取組を進めています。 また、小学校による森林教育授業においては森林の機能や大切さを学ぶことにより、自然環境の役割を考え、行動していく力を養っていきます。 その他、教育施設及び福祉施設において木質製品などを取り入れることにより、児童や地域住民が木に触れ合う機会を創出していきます。
事業実施により期待される効果	森林環境の保全及び地域住民の森林への意識の醸成が図られた。現地（民家裏等）での調査や作業の際、県民税や事業について詳細に説明する機会が多く、好意的な反応を示していただき、県民税への理解及び森林への関心を高めることができた。
情報発信への取組	工事看板に「みえ森と緑の県民税交付金事業」にて実施していることを表記。また、自治会での施工周知説明時に事業の概要についても説明。購入した備品等に「みえ森と緑の県民税」のロゴマークを刻印し、周知を図る。 その他、町のHP・広報誌に事業の成果を掲載し、県民税を活用し事業を実施した旨を周知。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・ 2 の事業の主な経費内訳（P 209）には 3 つの森林教育事業のそれぞれの報償費、資材費などの記載をお願いしたいです。（評価の視点とポイント主な経費内訳事例 2 森林教育参照） ・ 町のHPにそれぞれの事業の紹介や案内がされているのを拝見して、みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広められていると感じました。 ・ 森林教育授業について、授業の内容などの追加資料をいただけると、さらに内容がよく分かります。 ・ 木質製品の導入と関連して、森林教育が行われると更に効果の高い事業になるのではないのでしょうか。ご検討ください。また、特に 3 の事業について、資料の内容につきご確認ください。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木伐倒等業務	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
2	3	森林教育授業	3.0	B	2.3	C	3.0	B	3.0	B
3	4	公共施設等の備品等購入	2.7	C	3.0	B	2.7	C	2.7	C

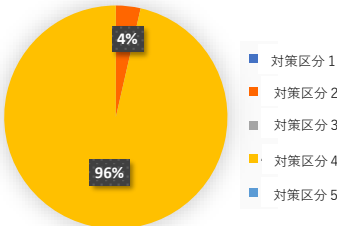
令和 6 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和 6 年度版三重県市町要覧及び令和 5 年度版森林・林業統計書による）

市町名	菰野町	三重県
人口（人）	39,876	1,716,617
年少人口割合（％）＊１	13.4%	11.4%
森林面積(ha)	5,313.17	371,680.22
民有林面積(ha)＊２	5,237.24	348,212.01
森林率(%)	50%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊３	4.5	10.7

＊１：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊２：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊３：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和 6 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5	基金積立
1	2	病虫害被害木伐採搬出事業	319,000	159,000		159,000				
2	4	幼児期から木に親しむ木育推進事業	1,890,337	1,890,337				1,890,337		
3	4	保育所等木製遊具購入補助事業	2,400,000	2,400,000				2,400,000		
計			4,609,337	4,449,337	0	159,000	0	4,290,337	0	0

3. 令和 6 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.08ha13本	1,463,166	731,583	菰野町杉谷地内において事前伐採13本（補償費含）
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	菰野町は、鈴鹿山脈の麓に位置する自然豊かな環境に恵まれた場所にあり、湯の山温泉や御在所ロープウェイなど、四季折々の自然を満喫できる観光スポットを有しており、多くの観光客が訪れます。このような中で、みえ森と緑の県民税を活用し、基本方針でもある「災害に強い森林づくり」の推進のため、病虫害や松枯れなど、倒木の恐れがある危険木の除去を進めることで、地域住民の安全な生活環境を守るとともに、「県民全体で森林を支える社会づくり」の推進のため、当町の森林資源を活用して地域住民や当町を訪れる人が地元の森林環境の魅力を感じ、自然環境保全の大切さや森林資源活用の意義について考え、学び場の整備を進めます。
事業実施により期待される効果	病虫害による被害拡散を防止することで地域住民の安全な生活環境の保全に繋がっている。 また町内幼児保育園や子育て支援センターで使用する遊具や家具を購入することにより、施設利用者やその保護者に活用していただいております。菰野町を含めた森林環境の魅力を感じ、木材活用大切さを学ぶ貴重な場となっている。
情報発信への取組	伐採作業時はのぼり旗を使うことにより、みえ森と緑の県民税を使って作業していることを通行者にPRした。また、町のホームページで事業報告を行う。木育推進事業においては、購入した家具・遊具に対して、焼き印もしくはシールによりロゴを入れて、みえ森と緑の県民税を活用していることを周知している。 広報ここの令和 6 年12月号において、「山に魅せられて」という特集を組んだ際、みえ森と緑の県民税及び森林環境譲与税に関するPRを行った。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・ 1 の事業の主な経費内訳（P221）には病虫害被害木伐採の作業内容は 1 本伐採した金額が掲載されていますが、使用した機械などの項目がありません。機械などを使用しているのであればそれらを記載してほしいです。（評価の視点のポイント主な経費内訳事例 1 危険木伐採参照） ・ 2 の事業は主な経費内訳（P225）のところにそれぞれの物品購入費が掲載されていますが、3 の事業の経費内訳（P229）ではどんな木製家具・遊具を購入したのかかわからないので記載してほしいです。（評価の視点のポイント主な経費内訳事例 5 木製備品導入 5 参照） ・ 資料に関して、もう少し補足をしていただけると評価しやすいと感じました。例えば 3 の事業の追加資料についてもご説明いただけるとよかったです。また、私立幼稚園への補助については、条件などについてももう少しご説明をいただきたかったです。例えば、補助率や、条件などです。また、木質製品の導入と森林教育をセットとしていただき、その製品の故郷の森について学ぶとより効果的ではないでしょうか。ご検討ください。 ・ 2 と 3 の事業についてほぼ同じ文章での報告となっています。公立、市立に同様に行うため趣旨や目的が同じであるためかとも思いますが、特記事項の受益者の反応等については検討いただきたい。要約していただいたのかもしれませんが、報告していただく方が実際にキャッチした子どもたち、保護者、職員、地域の方の様子や声がわかる報告を期待します。実施の場所が違うので子どもたちや保護者の声も違うものもあるかと考えます。とても素敵なものなので、実際に使用している子どもたちや保護者、施設の方が感じていることをあげていただく方が良いかと思えます。みえ森と緑の県民税を使ってこれだけの姿・実績があると報告し、継続し、次につなげていくこと、そのこと自体が子どもたちの森林教育への充実につながるのではと考えます。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	病虫害被害木伐採搬出事業	3.0	B	2.7	C	3.0	B	3.0	B
2	4	幼児期から木に親しむ木育推進事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
3	4	保育所等木製遊具購入補助事業	3.0	B	2.7	C	2.7	C	2.7	C

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

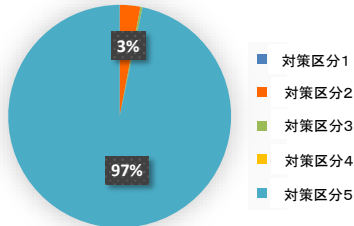
市町名	朝日町	三重県
人口（人）	11,078	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	16.5%	11.4%
森林面積(ha)	63.06	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	63.06	348,212.01
森林率(%)	11%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	2.1	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5	基金積立
1	2	里山・竹林環境保全支援事業（あさひ竹プロジェクト）	600,000	450,000		450,000				
2	3	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）	47,332	47,000			47,000			
3	5	教育文化施設ビオトープ再生整備事業	14,817,000	14,536,000					14,536,000	
計			15,464,332	15,033,000	0	450,000	47,000	0	14,536,000	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
当町は三重県一小さい自治体であり森林面積も約63haと狭小であるが、63haの25%に当たる約16haが竹林であり、竹林割合の高さでは県内である。また、人口が増加し続け子どもが多い若い町であり年少人口（15歳未満人口）割合も県内である。 これらの特徴を踏まえ、町と町民により適正に管理された竹林・里山・緑地や、そこから生み出される生産物等を通じ、若年層や親子が森や緑と親しめる取り組みに県民税を活用することで、竹林・里山・水辺が地域の中で魅力を発揮している姿を目指す。 その実現のため、あさひ竹プロジェクトの一環として、町民による自主的な竹林・里山整備を支援する「里山・竹林環境保全支援事業」、竹を使った様々な体験・学びの場を創出する「森林環境教育事業」を実施する。また、町民が身近な水辺空間を楽しみ、生物多様性に係る認識を深めることを目指す「教育文化施設ビオトープ再生整備事業」を実施する。
事業実施により期待される効果
これらの活動は、町民の自律的な参加を通じて、竹林・里山の整備を進め、環境に対する意識の向上と持続的な地域づくりを目指しています。具体的には、町内の竹林や里山を交流の場として活用し、安全性を高めることで、若年層や親子が自然と触れ合い、地域とのつながりを深めることが期待されます。また、三重県内で竹林の面積割合が高い朝日町において、竹の魅力を再認識することが、荒廃した竹林の問題意識を高め、住民主体の竹林整備につながる重要なきっかけとなります。さらに、朝日町教育文化施設敷地内にある親水公園兼調整池を再生することで、身近な水辺空間を創出し、環境教育を通じて生物多様性に対する理解を深めることができます。これらの事業を実施することで、町民の生活環境がより豊かで安全なものとなり、持続可能な自然との共生が実現されることが期待されます。
情報発信への取組
町の広報紙等を通じた一般的なPRを実施した。また、パネル展の来場者に対してアンケートを実施し良好なアンケート結果が得られたのと同時に、みえ森と緑の県民税の存在を周知することができた。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・町民の竹林問題への意識が高まり、町民が主体となって取り組まれていることを評価します。竹の花挿し設置には114人の参加があり自宅の外構等に飾られているのは情報発信力が高いと思います。個人への貸し出しセットも効果的と思いました。チップperを貸し出せる対象が広がると、管理は大変ですが町内の竹林整備がよりすすむのではないかと思います。 ピオトープの生態系と図書館での生物多様性に関する書籍の紹介コーナーとが上手くリンクできるといいのですが、投入される生体やピオトープのことを看板等で紹介をされてはどうでしょうか。 ・里山や竹林の整備に継続的に取り組んでこられているので、今後も続けていただきたいです。また、町民の皆さんに竹林の課題解決に目を向けていただくために、いろいろ工夫されていると思います。 ・教育文化施設ピオトープ再生整備事業 ○最終的にどんなピオトープにしたいのか分かりづらいので、ピオトープの完成予定図を付けていただけると助かります。 ○R.7年度以降にウッドデッキが少し延長されるようですが、事業スケジュールの最後の図では、全体の面積に対してウッドデッキは極一部のように見えます。今後、水生植物を植える計画のようなので、可能な場所があればウッドデッキを複数増設してはいかがでしょうか。ウッドデッキがあると、水生植物やそこに生息する他の生きものを観察しやすくなり、環境教育・学習の場としての価値が高まると思います。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	里山・竹林環境保全支援事業（あさひ竹プロジェクト）	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
2	3	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
3	5	教育文化施設ピオトープ再生整備事業	2.7	C	3.0	B	3.0	B	3.0	B

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

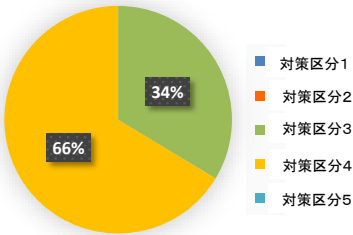
市町名	川越町	三重県
人口（人）	15,546	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	14.0％	11.4％
森林面積(ha)	0.00	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	0.00	348,212.01
森林率(%)	0.0％	64％
都市公園面積（㎡/人口）＊3	0.3	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	3	小中学校自然教室	2,513,526	1,368,000			1,368,000			
2	4	川越南小学校 図工室机・椅子購入	1,775,400	1,610,000				1,610,000		
3	4	川越北小学校多目的用 木製机整備事業	539,000	539,000				539,000		
4	4	川越幼稚園屋外用 木製机整備事業	550,000	550,000				550,000		
計			5,377,926	4,067,000	0	0	1,368,000	2,699,000	0	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	0	0	0	
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	
県民参加の植樹祭事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	当町は三重県の北部に位置し、北は員弁川、東は伊勢湾に臨む地形であり森林を有していない町です。 人口は増加しており、年少人口割合は県平均を上回っている状況にあります。この状況において、学校施設への木製備品の設置や自然の中で森林や木材について学ぶ機会をもつことで、森林や緑を大切に思い育む人づくりを進めます。また、公共施設の木質化を通じて、町民が森林や木材について、学びふれあう場を提供することで森林教育を行います。
事業実施により期待される効果	緑豊かな環境の中で、集団生活を通じ学校生活における「仲間づくり」や「信頼関係」の土台を築き、自然と触れ合うことで、身近な木や緑に親しむ機会を増加させることができる。また、身近な公共施設への県産材の使用や、学校で木製品に触れることにより、三重県の森林や木材への関心を深めてもらい木の温もり、肌触りや香りを身近に感じることができ、木材利用に対する理解や関心が深まる。
情報発信への取組	学校だよりや学年通信を活用し、自然教室を通じた子供の成長や取組について、情報を提供した。 また、町HPを活用し、みえ森と緑の県民税市町交付金の活用実績について、情報発信した。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・木製の家具などを購入、設置するというアウトプットにとどまらず、その先の森林への関心向上や、理解といったアウトカムへのアプローチがさらにあるとよりよい取り組みとなるのではないのでしょうか。その際に木質製品の導入と森林教育をセットとしていただき、その製品の故郷の森について学ぶとより効果的ではないのでしょうか。ご検討ください。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	3	小中学校自然教室	3.3	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
2	4	川越南小学校 図工室机・椅子購入	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
3	4	川越北小学校多目的用 木製机整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
4	4	川越幼稚園屋外用 木製机整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

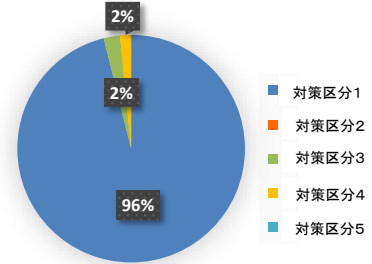
市町名	津市	三重県
人口（人）	267,884	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	11.5%	11.4%
森林面積(ha)	41,532.42	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	40,791.91	348,212.01
森林率(%)	58.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	8.1	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	1	津市林地残材搬出促進事業	27,705,800	27,705,800	27,705,800					
2	3	夏休み森と緑の親子塾開催事業	257,180	257,180			257,180			
3	3	パートナーシップ協定に基づく森林環境教育事業	169,544	169,544			169,544			
4	3	美里水源の森「林業体験」事業	242,000	242,000			242,000			
5	4	子育て支援センターにおける木育環境整備事業	449,900	449,900				449,900		
計			28,824,424	28,824,424	27,705,800	0	668,724	449,900	0	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	54.87	30,405,100	30,405,100	特定水源地域の森林の調整伐
災害からライフラインを守る事前伐採事業	伐採131本	10,338,266	5,169,133	ライフラインを寸断する恐れのある立木の伐採

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	・本市の森林面積は、総面積711km²の58.4%にあたる415km²を占めており、人工林率は82%と古くからスギ、ヒノキの造林が盛んに行われている森林が多い。一方で、高速道路や鉄道、海上アクセスなど交通インフラ、大学や短期大学など高等教育機関、大学病院等の医療機関など県都として都市機能が集積されていることから、流域の上流のみならず、下流の市民の方々も森林の恩恵を受けている。 ・上流から下流の市民の生命と財産を守るため、森林に対して直接県民税を投じて災害に強い森林づくりを図るとともに、下流域の市民の方々にターゲットとした森林環境教育事業、木育環境整備事業等を併せて進めていく。
事業実施により期待される効果	・林地残材の減少により河川への流出危険性が減少し、減災効果が得られた。また、バイオマス発電燃料として未利用材の有効活用が進んだ。 ・直接木に触れることや、森林のはたらきについて学ぶことで、循環可能な資源である木材を利用する意義を知るとともに、森林の持つ公益的機能の理解を深めることができ、森を育む人としてのきっかけづくりの場を提供することができた。 ・木育ができる環境整備を行い、木に触れあっていただくことで、木のぬくもりや質感を感じ、木づかいに興味関心を持っていただくことが期待できる。
情報発信への取組	・事業実施箇所については、県民税のぼり旗により啓発を行った。 ・県民税の活用についてホームページや広報誌等に掲載した。 ・森林環境教育の参加者の募集方法として、「夏休み森と緑の親子塾」「まるごと林業体験」は広報津を活用し、広く募集に関する周知を図った。 ・アンケートを行い、次回以降の取組へ反映する。 ・市町交付金事業のパネルを市役所庁舎及び県津庁舎に掲示し、PRを行った。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・ホームページを上手く活用し見やすく分かりやすい活動報告がなされています。「広報つ」の活用もいいと思います。 まると林業体験は内容が濃いだけに参加人数が少ないと一人当たりのコストが高くなります。小学校との連携がすすむことを期待します。子育て支援センターにおける木育環境整備事業は、保護者の関心も高まるので効果的だと思います。添付資料も分かりやすかったです。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	1	津市林地残材搬出促進事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
2	3	夏休み森と緑の親子塾開催事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
3	3	パートナーシップ協定に基づく森林環境教育事業	3.0	B	3.0	B	2.7	C	3.0	B
4	3	美里水源の森「林業体験」事業	3.0	B	2.3	C	2.7	C	3.0	B
5	4	子育て支援センターにおける木育環境整備事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

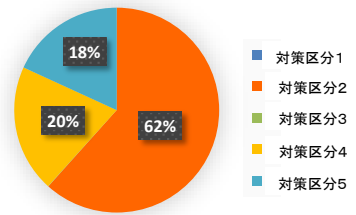
市町名	松阪市	三重県
人口（人）	153,612	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	11.7%	11.4%
森林面積(ha)	42,728.65	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	41,267.79	348,212.01
森林率(%)	69%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	12	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						基金積立
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	2	里山の森林安全安心対策事業	15,367,000	15,268,000		15,268,000				
2	3	松阪の木魅力発信活動事業	40,000	13,000			13,000			
3	4	森林環境学習事業	2,992,000	2,992,000				2,992,000		
4	4	保育園木育推進事業	2,884,970	2,000,000				2,000,000		
5	5	都市公園整備事業	8,924,300	4,500,000					4,500,000	
計			30,208,270	24,773,000	0	15,268,000	13,000	4,992,000	4,500,000	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	8.57ha	4,999,500	4,999,500	森林整備
災害からライフラインを守る事前伐採事業	2.45ha	20,121,700	10,000,000	予備調査・事前伐採・立木補償

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	松阪市ではみえ森と緑の県民税市町交付金の活用主旨に則り「災害につよい森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を目指しつつ川上から川下まで普く当該交付金を有効に活用すべく5つの事業を実施した。 1. 里山の森林安全安心対策事業…民家裏、重要施設付近、幹線道路沿線等において懸案となっている支障木を伐採し、住民の安全安心を確保する目的で実施。 2. 森林環境学習事業…松阪市内小学校を対象に森林環境教育を実施。 3. 松阪の木魅力発信活動事業…松阪地域の林業、木材産業に携わる若手後継者で構成する団体「松阪地区青和会」が開催する、学校等における木育や森林教育イベントの活動補助等を実施。 4. 保育園木育推進事業…市内の保育園の備品を木質化し、森林や木材について学び、幼少期より木との関係を深める。 5. 都市公園整備事業…都市公園内に地域産材を使用した東屋を設置し、利用者に木の持つ「温かみ」「やすらげる空間」を提供すると共に、森林、緑、水辺の自然と親しむ環境整備を実施。
事業実施により期待される効果	里山の森林安全安心対策事業については、自助努力により対応できない箇所について、配電事業者や地域と連携しながら実施したことにより、物理的な安全安心の確保に加え森林所有者による事業実施後の管理意識の向上に繋がった。森林環境学習については、小学校の従来のカリキュラムである清掃工場における環境学習に加え当該事業を実施したことにより、飛躍的に森林の公益的機能の理解が定着すると好評を得ている。
情報発信への取組	森林整備・都市公園整備遂行にあたり、県民税のPRチラシ及び啓発品配布や松阪市HPにより積極的な啓発を行っている。 森林環境学習については、報道機関へ情報提供を行い、新聞紙上において、情報を発信し、また、事業実施後にSNS（インスタグラム）において情報発信した。 松阪の木魅力発信活動事業については、事業実施後にSNS（インスタグラム）において情報発信した。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・危険木・支障木には、施工前の写真を○などの印で囲んでください。 ・松阪の木魅力発信活動事業において、松阪市ならではのスケートパークを活用した取組や祭りでの周知であり受益人数も多く事業として優れている。また、木製賞状についてもオリジナリティがあり波及効果も大きいと考えられる。 ・森林環境学習事業において、よい取組であるが、松阪市内の学校における実施率が低いため、実施率を高めてほしい。取組内容は新聞記事にもなり情報発信が行われている。 ・保育園木育推進事業について、よい取組であり、木材の利用と保育園の設備更新の双方にメリットがある。 ・1から4の事業はきめ細やかさを感じるが、5の事業は残予算を使った感が否めない。若者に届ける媒体として、Instagramも併用している点は評価できる。 ・木製品の導入と教育とがセットになっていて、教育効果が期待できる取り組みと考えます。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	里山の森林安全安心対策事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
2	3	松阪の木魅力発信活動事業	3.0	B	3.3	B	3.5	A	3.8	A
3	4	森林環境学習事業	3.3	B	3.3	B	3.0	B	3.8	A
4	4	保育園木育推進事業	3.5	A	3.3	B	3.0	B	3.0	B
5	5	都市公園整備事業	2.8	C	3.0	B	3.0	B	2.8	C

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

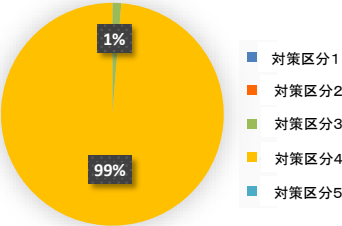
市町名	多気町	三重県
人口（人）	13,344	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	11.6%	11.4%
森林面積(ha)	5,847.03	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	5,847.03	348,212.01
森林率(%)	57%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	24.8	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	3	木とふれあう教育支援事業	100,760	100,000			100,000		
2	4	木とふれあう環境づくり事業	7,700,000	7,634,000				7,634,000	
計			7,800,760	7,734,000	0	0	100,000	7,634,000	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	14.2ha	3,148,200	3,000,000	
災害からライフラインを守る事前伐採事業（伐採調査）	0.685ha	18,761,600	9,225,000	
災害からライフラインを守る事前伐採事業（伐採施工）	0.554ha			

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	多気町は、三重県のほぼ中央部に位置し、森林面積は約57%を占めている。地域住民の生活に密着した里山から、林業生産活動が実施されるべき人工林等多様な森林構成になっている。しかしながら、森林所有者の高齢化に伴い維持管理が難しい状況であり、森林の荒廃、里山では竹林の増加といった問題がある。そのため、県民税を利用し、地域住民に木に触れる機械を提供し、森林の役割について理解を促すことを目的に事業を実施する。
事業実施により期待される効果	県産木材を利用した木製備品を小学校、保育園に導入・配置したことにより、木に対する関心が高まり、また多くの地域住民が集まる公共野外施設「ごかつら池ふるさと村どうぶつパーク（花と動物ふれあい広場）」に木製施設を配置したことにより、利用する多くの方に木の素晴らしさを実感してもらうことで、木材への親近感を深め「県民全体で森林を支える社会づくり」に貢献できる。
情報発信への取組	多くの地域住民の方に、木製備品の素晴らしさを理解してもらい、また危険木の伐採により安全・安心した生活が送ることができるということを広報誌等で情報発信した。 また、小学校への木製備品の導入配置については、児童だけでなく保護者様への周知のため学校通信等で周知を行った。 保育園の木製備品（書架）の導入については、森林に関して推奨されている絵本を紹介いただき、読み聞かせを行ったことで、森林への親しみを深めるとともに、その様子を保護者様への通信へ掲載いただくことで、情報発信を行った。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・購入物品などの場合、評価をアンケートで示してください。 ・木とふれあう教育支援事業において、小学生を対象とする事業の効果は大きい。また、実施する内容は違うため一概に比較できないが松阪市よりも安価に事業を実施できている。 ・「木とふれあう環境づくり事業」100%である点は、試みとして少ない印象を受ける。他の事業を行わなかった理由は何か、町民への説明が必要と感じる。 ・自分だけの箸を製作することは、森林教育の効果を高めることができると考えます。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	3	木とふれあう教育支援事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
2	4	木とふれあう環境づくり事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	2.5	C

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

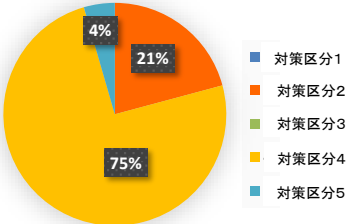
市町名	明和町	三重県
人口（人）	22,155	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	12.7％	11.4％
森林面積(ha)	295.90	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	295.90	348,212.01
森林率(％)	7％	64％
都市公園面積（㎡/人口）＊3	13.2	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	松林整備事業	1,760,000	1,394,000		1,394,000			
2	4	学校木製備品購入事業	5,351,500	5,000,000				5,000,000	
3	5	木造施設等設置事業	368,500	300,000					300,000
計			7,480,000	6,694,000	0	1,394,000	0	5,000,000	300,000

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
明和町は三重県の中南部に位置し、総面積41.04平方キロメートルで、民有林面積は310.97ha、保安林は33.87ha（うち防風保安林は18.90ha）あります。そのうち、マツの面積が210.24haであり、その占める割合は67.6％であり県平均（7.9％）よりかなり高い値です。しかし、松くい虫被害等により森林の持つ公益的機能の低下が懸念されることから、本町においては次に挙げる事業を行う。 「災害に強い森林づくり」の推進として、沿岸沿いの防災林の役割及び景観を保持するため、松林の継続的な保護に取り組み、また、地域住民及び観光客の安心と安全を確保する。また、「県民全体で森林を支える社会づくり」として小学生のみでなく、多くの地域の方に三重県産材の備品に触れていただくことで、森林の大切さや自然環境について考える場を創出する。
事業実施により期待される効果
防風林としての役割維持。学校生活において児童が利用する机・椅子に県産材を利用することで、木製製品の良さと温かさを実感してもらい、森林の大切さや役割を学んでもらう。
情報発信への取組
町ホームページやポスター等を通じて事業内容や森林保全に関する周知を行う。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・危険木・支障木には、施工前の写真を○などの印で囲んでください。 ・松林整備事業において、海岸の松林という想定される利用者も多いことから、地域住民向けに回覧板や広報を活用してもよい。 ・木造施設等設置事業において、遊具についてないよりはあった方がよいと考えらえるが、効果については不透明である。設置する遊具についても、複数を設置することで情報発信の効果は大きくなる。 ・巨大地震が予測される中で、海岸林を整備した点は評価できる。明和町は森林率が低く、将来にわたる水源（林）確保は他の自治体との協議になるかと思われる。外国資本の山林購入などが話題になる中、水源林をどう確保していくか、他の自治体との連携や協定にも引き続き留意されることを望む。 ・単に木製品を導入するだけでなく、税の目的を教育・普及する取り組みが必要です。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	松林整備事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	2.5	C
2	4	学校木製品購入事業	2.8	C	3.0	B	3.0	B	2.5	C
3	5	木造施設等設置事業	2.5	C	3.0	B	3.0	B	2.3	C

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

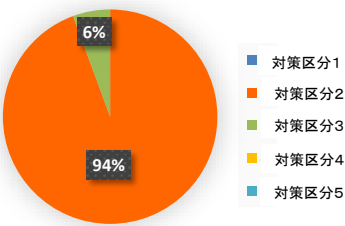
市町名	大台町	三重県
人口（人）	7,984	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	8.7%	11.4%
森林面積(ha)	33,739.64	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	27,920.82	348,212.01
森林率(%)	93%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	0	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						基金積立
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	2	集落周辺等危険木伐採事業	12,763,300	12,080,000		12,080,000				
2	3	森林環境教育事業①	497,200	490,000			490,000			
3	3	森林環境教育事業②	234,300	230,000			230,000			
計			13,494,800	12,800,000	0	12,080,000	720,000	0	0	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	68.58ha	45,940,400	42,706,000	間伐（災害緩衝林及び環境林・特定水源地域）
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.52ha	37,535,984	18,767,000	危険木伐採937本
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	・大台町は三重県最高峰の大台ヶ原山を有し、総面積の90％以上を森林が占める自然豊かな地域であり、豊かな生態系や生物多様性を守りながら持続可能な発展を目指している地域として、ユネスコエコパークに登録されています。日本有数の多雨地域で上流域は1,000m級の山々が囲む急峻な地形となっており、過去に集中豪雨で大規模な土砂災害が発生する苦い経験をしました。このような自然災害に備え「みえ森と緑の県民税」を活用した災害に強い森林づくりをし、地域住民の安全を確保し、自然と共生する地域社会を形成します。 ・森を育む人づくりとして、地元学生を対象に森林が持つ生物多様性と自然の循環について学習し自己啓発を促すことにより森林林業の担い手のきかけづくりを推進し、地元児童に木材と触れ合う機会を作り、森林の大切さを学び自然環境を大切にする心を育む人づくりを推進します。
事業実施により期待される効果	災害に強い森林づくりとして、集落周辺等危険木伐採事業を実施し、道路沿い等の危険木を伐採することで、通学路や生活道路といった地域住民の安全な生活環境を確保し、交通障害や停電被害の減少と孤立集落の発生を予防します。 森を育む人づくりとして森林環境教育を実施し、地域の特色であるユネスコエコパークの自然と共生する社会を、木と触れあい森林の大切さを学び循環する自然環境を大切にする心を育む人づくりをします。
情報発信への取組	全ての事業において、事業実施時にのぼり旗の設置、事業終了後は、広報誌、ホームページへ掲載し情報を発信しました。 森林環境教育においては、記者クラブへ情報発信を行い、MCV、夕刊三重、読売新聞で放送や記事が掲載されました。 森林環境教育に町長が参加し町長ブログに掲載を行いました。 どんとこい大台祭りの森林課ブースで県民税のパネル展示と緑の募金活動を実施しました。 レディオキューブによる、みえ森と緑の探検隊に出演し放送されました。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・危険木除去の場合に、急傾斜の斜面で伐採を全面的に行っている場合があり、土砂崩れ、土砂流出の危険性がある。特に栗谷地区など。 ・集落周辺等危険木伐採事業において、集落の孤立防止など有効性および公益性は高い事業である。 ・森林環境教育事業①について、高校の授業として取組まれている有効性は理解できるが、費用対効果という点において、受益者数が少ない。 ・森林環境教育事業②について、大台町内の小学生を対象とした教育的効果は高い。また、広報活動にも注力されておりメディアの取材も多く優れている。 ・森林教育への多様な取り組みが評価できる。森林率が高く、危険木の伐採に予算が必要であることも理解できる。 ・卒業生による高校生への森林・林業教育、箸づくりを通じた森林教育、地元高校生の現場見学など、大変有効で効果的な森林教育を実施されていると感じました。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	集落周辺等危険木伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
2	3	森林環境教育事業①	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.5	A
3	3	森林環境教育事業②	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.8	A

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

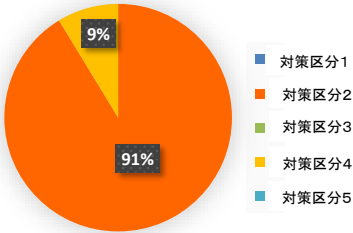
市町名	伊勢市	三重県
人口（人）	117,928	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	11.1％	11.4％
森林面積(ha)	10,959.16	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	10,959.16	348,212.01
森林率(%)	53％	64％
都市公園面積（㎡/人口）＊3	9.8	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	森林整備事業	13,505,200	13,489,200		13,489,200				
2	4	絆の森整備事業	1,284,800	1,284,800				1,284,800		
計			14,790,000	14,774,000	0	13,489,200	0	1,284,800	0	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	①森林整備事業 伊勢市の沿岸部には防風林として松林が広がっているが、近年の病虫害被害により枯れ松が激増し、保安林としての機能が低下し、倒木被害が心配されていることから病虫害被害を未然に防ぎ、地域住民の安全や防風林の機能維持を図る。 ②絆の森整備事業 朝熊町にある絆の森において、木育体験や森林とのふれあいを目的に様々なイベントを行っているが、当施設内に設置されているウッドデッキは腐食が著しく、一部破損している箇所もあり、施設利用者に危険を及ぼしている。このことを踏まえ早期に「森と人をつなぐ学びの場」として再整備し、森林教育等のフィールドとしてさらなる活用を図る。
事業実施により期待される効果	①病虫害被害を最小限にとどめることにより、防風林の役割を担っている海岸林の景観保全及び倒木による住民への被害防止を図ることが出来た。 ②絆の森内にあるウッドデッキを再整備することにより施設利用者、地域住民が安全・快適に利用することができるとともに、森林教育等のフィールドとしての活用を促進することが出来た。
情報発信への取組	①施工期間中は現地へのぼり旗の設置、訪れた人が目に付く場所に県民税のPR看板を設置して情報発信に努めている。 ②訪れた人が目に付く場所に県民税のPR看板を設置して情報発信に努めている。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・絆の森整備事業については昨年度の委員会でもウッドデッキへの手すりや単価、入口のロープ、遊歩道の荒れについて意見が出されています。絆の森へ訪れる方が多いとありますが、サンアリーナの駐車場から遠く、入口も分かりにくいと訪れる方が多いとは評価しにくいです。また、私見ですが絆の森の認知度が高いとも思えません。実際にここを訪れる方は何人程度なのでしょうか。また地元小学生を対象としたイベントとウッドデッキの整備がつながりません。ビオトープを確認しましたが多くの生態系を学べるような状況にも見えませんでした。山の中にあるビオトープのため誤って池に落ちた場合のリスクの方が高いように思います。昨年ロープが張ってあったのはそのような状況からだったのでしょうか。ウッドデッキの整備に、この2年間で250万円以上の税金が投入されていますが有効性と必要性が見えませんでした。写真3も昨年の資料や市のHP等からはここまで壊れているようにも見受けられませんでした。 ・税の目的に適う用途だと思います。今後も有効な活用を期待しています。残念ながら2番の事業は大半が「諸経費一式」と計上されており効率性が評価できないため、減点しました。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	森林整備事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	2.3	C
2	4	絆の森整備事業	2.7	C	2.3	C	2.7	C	2.7	C

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

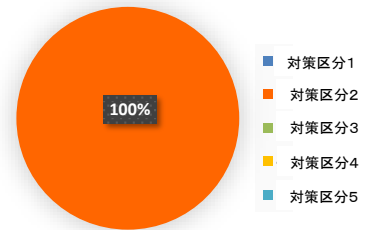
市町名	鳥羽市	三重県
人口（人）	16,145	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	8.2%	11.4%
森林面積(ha)	7,452.55	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	7,452.55	348,212.01
森林率(%)	69.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	11.4	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	危険木伐採業務	1,585,000	1,585,000		1,585,000			
2	2	危険木伐採事業費補助金事業	5,994,000	5,994,000		5,994,000			
		基金積立	750,000	750,000					750,000
計			8,329,000	8,329,000	0	7,579,000	0	0	750,000

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	25本	3,234,000	1,617,000	台風などの倒木被害により、ライフラインを寸断する恐れのある樹木を事前に伐採。
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	本市では、人工林率が25％となっており、人工林率が低く、天然率が高いことが特徴である。本市の強みである水産業と森林には密接な関連があり、本市内の森林を整備することで、水源涵養力や土砂流出災害防止などの森林本来の機能を回復させるとともに、森林の土壌に含まれているミネラルなどが川へ流れ込み海に入り、磯焼け防止や藻場再生につながり、海産物の育成などにも好影響が生じる。 しかし、本市では急峻な地形であることや林業経営体が減少していることにより、森林整備が進んでおらず、海産物や市民生活に支障をきたす恐れがある立木が多い。そのため、危険木の除去など暮らしに身近な森林の整備をすすめ、市民の生活に支障をきたすことがないようにするとともに、森林の整備を行うことが海の環境改善にもつながる。
事業実施により期待される効果	危険木の伐採を行ったことにより、市民が安心安全な生活を送ることができるようになった。また、危険木伐採（補助金）では、市が施行するまでの間に状況が変化し倒木する可能性がある。補助金事業として町内会が主体となって行うことにより、各町が一番危険と感じている木を最優先でそれぞれ伐採できるため、危険要因を排除できる。 また、伐採木は実施した町内で必要とする人が必要分活用することにより、木が持つ温もりや利便性を感じてもらえることができた。
情報発信への取組	危険木伐採を実施する前に、対象となる町内会に回覧文書を作成し、周知を図った。また、施行後には町内会を通じて、伐採木活用意向を聞き取ってもらい、伐採木を引き取ってもらう人に対して周知を行った。 また、広報誌（R7.5月号予定）および市ホームページにて、県民税に関するページを作成し、紙ベースだけでなくインターネットでも実績の周知を図った。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・町内会や自治会への事前案内、広報誌やＨＰでの実施報告は適切だと思います。添付の写真は分かりやすかったですが実施場所の地図等が添付されると、この事業の必要性がより高まると思います。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木伐採業務	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
2	2	危険木伐採事業費補助金事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
		基金積立	—	—	—	—	—	—	—	—

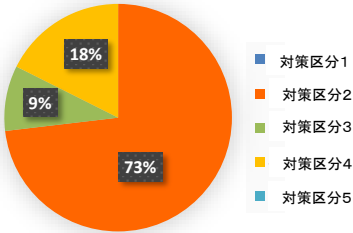
令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

市町名	志摩市	三重県
人口（人）	42,242	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	7.9%	11.4%
森林面積(ha)	9,090.91	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	9,088.66	348,212.01
森林率(%)	51.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	6.8	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）
＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	樹木伐採事業	4,045,609	4,000,000		4,000,000				
2	2	松くい虫防除事業	3,581,600	3,482,702		3,482,702				
3	3	森と緑ふれあい事業	949,298	949,298			949,298			
4	4	磯部ふれあい公園東屋設置工事	2,893,000	1,800,000				1,800,000		
計			11,469,507	10,232,000	0	7,482,702	949,298	1,800,000	0	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	11.12ha	4,261,600	4,000,000	環境林・特定水源地域
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業	1回	500,000	500,000	10/5(土) 志摩市国府地内

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	志摩市の森林の多くは、広葉樹が広がり、薪炭林などとして利用されていたが、社会情勢の変化により、里山としての森林利用がされなくなり、森林病虫害の発生が見られたり、獣害被害が農地や人家近くに及ぶようになってきた。 この状況下において、森林の持つ多面的な機能を市民に知ってもらうために、木製品にふれあう機会を創出や体験型の講習会などを通じ里山保全の手法を体験していただき、市民による森と緑ふれあい事業の取り組みをさらに推進する。 併せて災害に強い森林づくりとして森林整備を進めていく。
事業実施により期待される効果	・体験型の講習会等を開催したことにより、森林への関心やその手法を市民に伝えることができた。 ・古くから海岸保全林として地元住民に親しまれていた松林の保全ができた。また、森林公園としての松林の保全ができた。
情報発信への取組	事業実施時の工事看板及び備品購入にあたっては、当該備品に県民税活用した旨を記載したプレートを設置している。 また、事業実施時において地元自治会長等に事業を周知する文書を配布するにあたり、文書内に県民税を活用して事業実施している旨の文言を記載して地元住民への周知を図っている。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・ 志摩市都市計画マスタープランに基づいた磯部ふれあい公園の機能・役割を明確化し必要な公園整備の推進に基づくものと評価します。東屋を市民に永く大事に使っていただけるよう清掃などの維持管理をお願いします。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	樹木伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
2	2	松くい虫防除事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
3	3	森と緑ふれあい事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
4	4	磯部ふれあい公園東屋設置工事	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

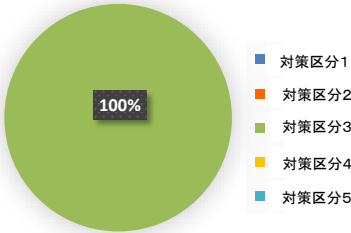
市町名	玉城町	三重県
人口（人）	14,717	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	13.4%	11.4%
森林面積(ha)	1,255.54	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	1,255.29	348,212.01
森林率(%)	31.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	26.4	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	3	森林環境教育・木育事業	528,179	528,179			528,179			
2	3	森林環境教育事業（森林教育イベント）	2,970,000	2,970,000			2,970,000			
計			3,498,179	3,498,179	0	0	3,498,179	0	0	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	本町は、三重県のほぼ中央に位置し、伊勢市、度会町、多気町、明和町に隣接している。総面積は40.91km ² でそのうち、森林面積は1,259.02haで森林率は31%と低く、そのほとんどが民有林で人工林面積は1,133.59haで森林面積の90%を占めている。森林率が低いゆえ、森林の良さ、木材の良さに気づかせることで、森林環境への関心・身近さを少しでも感じてもらいたいと考えている。 このため、保育所や小学校で森林環境教育を実施した森をはぐくむ人づくりを行ったり、森林をテーマにしたイベントを開催することで、森と人をつなぐ学びの場として、多くの方々に森林の必要性、大切さを周知し、啓発していく。
事業実施により期待される効果	森林環境教育・木育を実施したことで森林への理解、森林の大切さを感じてもらう。 また、木と触れ合える教育環境を児童や園児とその保護者、指導者に感じてもらい、木材の大切さ、活用の促進と森林への理解を深めてもらう。
情報発信への取組	町の広報誌（広報たまき）へ掲載し、町民に対して積極的に情報提供（PR）した。 対象者はもとより、町民の方からも事業に対する理解の声をいただいた。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・森林環境教育・木育事業は、保育所や小学校と連携して取り組まれており子どもたちだけでなく親への波及効果も大きいと思います。 森林率が低いとのことで映画や講演などの座学もよいと思いますが、森林環境教育事業（森林教育イベント）でのアンケートにもあるように的の山公園などを活かしたフィールドでの森林環境教育事業も組み合わせてはいかがでしょうか。添付資料も分かりやすかったです。アンケート結果を踏まえた学校側からの評価も記載すると事業の必要性がより伝わるのではないのでしょうか。 ・上映会は住民の皆さんにとって良い機会であったと思います。企画の性質上やむを得ないところですが、委託料一式としての計上は効率性の評価が不可能であるため減点しました。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	3	森林環境教育・木育事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
2	3	森林環境教育事業（森林教育イベント）	3.0	B	2.7	C	3.3	B	3.3	B

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

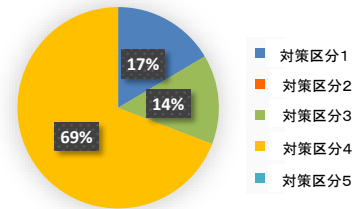
市町名	度会町	三重県
人口（人）	7,464	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	10.7%	11.4%
森林面積(ha)	11,259.09	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	11,259.09	348,212.01
森林率(%)	84%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	10.3	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						基金積立
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	1	流倒木撤去事業	1,100,000	990,000	990,000					
2	3	森林環境教育推進事業	999,900	863,000			863,000			
3	4	木材とふれあう場づくり推進事業	4,198,700	4,151,000				4,151,000		
計			6,298,600	6,004,000	990,000	0	863,000	4,151,000	0	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充当 額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	13.57ha	7,370,000	7,270,000	間伐等（環境林・特定水源地域）
災害からライフラインを守る事前伐採事業	596本	5,164,777	2,582,000	伐採施工、立木補償
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	本町は、三重県の南東部に位置する内陸地であり、町の西から東に流れる宮川・南から北へ流れる一之瀬川沿いに集落が広がっている。総面積のうち、山林が83.7%を占めており、古くから人工林の整備が進められてきたが、近年の木材価格の低迷や林業後継者不足により、林業経営が厳しい状況下となっている。 本県民税を財源に本町では、第7次度会町総合計画に定める「みらい わたらい わかち愛 ～想いはぐくみ、幸せつなぐまち～」の将来像を基盤に、地域材で木製品を整備し、地域材の利用を促進するとともに、森林について「学ぶ場」と「ふれあう場」を提供する。また、近年の災害状況を踏まえ、道路・河川・ライフラインに関連した暮らしの安全を守る強靱なまちづくりを進める。
事業実施により期待される効果	下流へ流出する恐れのある木を伐採・撤去することで、道路や下流域への災害の拡大が抑制され、安全性の向上が期待できる。 町内の約8割が森林である当町において、子どもたちへ木育授業・木工体験を行うことで、森林の魅力に触れることをきっかけに、森林に対して興味を持ってもらい、森林の機能・緑の大切さについての理解を深める。
情報発信への取組	○のぼり設置 ・作業中や授業中に県民税ののぼり旗をたて、県民税で事業を実施していることをアピールした。 ○HP掲載 ・事業実施前に実施する事業を町HPに掲載した。 ・年度末に、実施した事業の写真や概要を町HPに掲載した。 ○回覧板・掲示板 ・地元地区へ作業前のお知らせと併せて、事業概要を記載したチラシと県民税のパンフレットを渡し、回覧板や掲示板で県民税を活用した取り組みであることを周知した。 ○広報紙掲載 ・事業実施後に事業の内容を町広報紙に掲載した。 ・広報11月号では、林業特集を掲載し、その中でみえ森と緑の県民税事業の紹介をした。 ○ポスター掲示 ・保育所の掲示板に県民税事業のポスターと自作ポスターを掲示して県民税を活用していることをアピールした。 ○学校だより等掲載 ・学校だよりで授業の内容や写真を掲載した。 ○アンケート実施 ・授業実施後に受講者に対してアンケートを実施した。 ○記者提供 ・中日新聞（R7.1.25）に授業の様子を掲載してもらった。 ○SNS ・町SNSに授業の様子や、遊具で遊ぶ園児の写真を投稿し、県民税を活用して実施したことをアピールした。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・実施前の広報や、実施後の報告などの情報発信がよいと思います。また、保育園児や小学生を対象とした体験型の取り組みは家族への波及効果も期待できると思います。委託・請負先がすべて森林組合なのが少し気になりました。保育所や学校側からの評価も記載すると事業の必要性がより伝わるのではないのでしょうか。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	1	流倒木撤去事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
2	3	森林環境教育推進事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
3	4	木材とふれあう場づくり推進事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

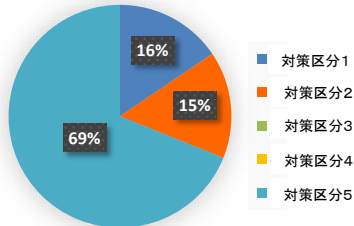
市町名	大紀町	三重県
人口（人）	6,970	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	6.5%	11.4%
森林面積(ha)	21,133.44	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	20,407.78	348,212.01
森林率(%)	91%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	13.9	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 （円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	1	溪流倒木等処理事業	4,000,700	4,000,400	4,000,400				
2	2	生活環境林整備事業	3,999,600	3,999,600		3,999,600			
3	5	大平つつじ山整備事業	18,612,770	17,755,163					17,755,163
計			26,613,070	25,755,163	4,000,400	3,999,600	0	0	17,755,163

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 （円）	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	11.93	6,200,700	6,200,000	間伐等（災害緩衝林一体型）
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	大紀町は、大台山系に連なる山岳地帯に属しており急峻な地形で、本町面積23,332haのうち森林面積が21,132haとなっており、91%を占めている。そのうち人工林が13,900haと人工林率は68%に達している人工林地帯である。本町では、基本方針1の「災害に強い森林づくり」を強力に進めるため、生活環境林整備事業と溪流倒木等処理事業を実施し、町民生活の安全安心を向上させていくと共に、大雨時における森林内の危険木流出による被害拡大を軽減させるため、河川上流部に位置する大紀町としての役割を果たすことで、県民全体の安全安心に繋げていく。また、三重県の景勝地に指定されている『大平つつじ山』において、イベントや森林環境教育を行う場として整備を促進していく。
事業実施により期待される効果	溪流内倒木等の危険木や土砂を溪流外へ搬出及び流出対策を実施し、危険木が下流域へ流出すること及び、溪流外への越水等の影響を防ぐことで、災害の発生や増幅の可能性を低下させることにより、下流域住民の安全を図ると共に、倒木等の恐れがある危険木を除去することにより、地域住民や道路等施設利用者の安全を確保し、安全安心な住民生活の向上が期待できる。また、大平つつじ山の環境整備により、ツツジの開花状況が良くなり、利用者数が増加する。
情報発信への取組	事業実施については、森林所有者や地区代表者に税事業での実施を説明したい。 事業実施中は、県民税のばりを事業箇所を立て、県民税での事業実施をPRしている。 事業完了、当年行った事業においてPRポスターを作成し、庁舎掲示及び大紀町HPにアップ、町広報紙に掲載し税事業のPRを行う。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・ 必要な倒木、危険木処理だと思いますが、同じ場所からのビフォーアフターの画像を添付していただくとより分かりやすいと思います。「広報たいき」でも1ページを使って年度の活動が報告されています。可能であれば事業の実施後に広報誌で紹介されてはいかがでしょうか。 ・ 大平つつじ山の整備は、今後のビジョンを知ること、ならびに公的な関与が必要だと思います。今回の事業は外観（景観）を損ねてまで幅広い遊歩道が必要なのか疑問を持ちました。また、遊歩道整備後の法面が一部崩れており今後も拡張するリスクを感じました。この改善にも多くの経費が必要だと思われます。既にいくつかの遊歩道やベンチ、東屋があり既存の遊歩道を整備・改善したり、車椅子のことを考えた遊歩道の整備でもよかったのではないかと感じています。景観のよい山の中腹の斜面が削られるのは惜しいです。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	1	渓流倒木等処理事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
2	2	生活環境林整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
3	5	大平つつじ山整備事業	2.3	C	2.3	C	2.7	C	3.0	B

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

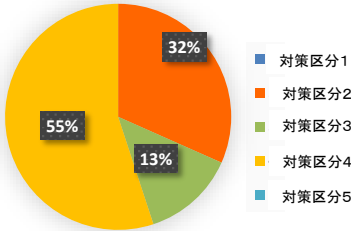
市町名	南伊勢町	三重県
人口（人）	9,684	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	5.4%	11.4%
森林面積(ha)	20,615.57	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	20,416.18	348,212.01
森林率(%)	85.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	0.3	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木除去事業	3,691,600	3,616,000		3,616,000				
2	3	森林環境教育事業	1,527,900	1,520,000			1,520,000			
3	4	保育園木製備品購入事業	6,321,700	6,290,000				6,290,000		
計			11,541,200	11,426,000	0	3,616,000	1,520,000	6,290,000	0	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	当町の森林・林業を取り巻く情勢として、総土地面積の約85％（20,630ha）が森林で覆われているにもかかわらず、林業経営体は14経営体しかおらず、林業者が極めて少ない状況となっています。森林の整備についても、整備が行われていない森林が大半であり、森林所有者の関心が低くなっていることが窺えます。そのような状況の中、森林について興味関心が持てるように、公共施設周辺や通学路・避難道等にかかる危険木の除去や、森林環境教育事業による森や海を大切に思う子どもの育成、子どもや町民が森林や木材についてふれあいながら学ぶことができる場づくりなど、町民が将来にわたって安全安心に過ごしながら森や緑と関わる機会を創出することを目的に県民税を活用する。
事業実施により期待される効果	危険木の除去については、自然災害等による倒木を未然に防ぐことで、安全安心して暮らすことに寄与している。 森林環境教育事業については、樹木について知識を得ることや木製品が身近にあることで森と緑の大切さを理解し、森林について考えるきっかけづくりへの寄与を期待している。 保育園木製備品購入事業については、日常的に木材製品とふれあうことにより、木製製品のあたたかみを感じることで保育環境の向上につながると考えている。
情報発信への取組	町の広報誌やHP等への掲載することにより、情報発信を行いました。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・HPでの実施前と実施後の報告ですが、もう一工夫（文言の追加等）あるとよいのではないかと思います。 危険木除去事業は避難道確保のためであることや、実施場所の地図等が添付されると、この事業の必要性がより高まると思います。立地の関係から民家の裏山などに多くの避難所が設置されており危険木だけでなく歩道の整備も併せて必要だと思いました。引き続き、地域の方々の声が活かされる事業をすすめていただきたいと思います。 ・森林環境教育は、小中学校の子どもたちが森に対してどのようなイメージや感想を持ったのかを知りたいと思いました。アンケート等の実施と学校側の評価を取ってみてはどうでしょうか。保育園木製備品の購入事業では、保護者への波及効果もあると思います。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木除去事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
2	3	森林環境教育事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
3	4	保育園木製備品購入事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

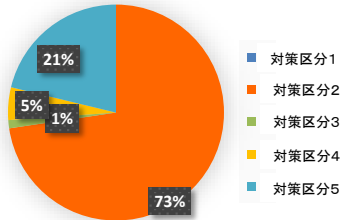
市町名	名張市	三重県
人口（人）	73,459	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	11.3%	11.4%
森林面積(ha)	6,827.35	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	6,827.35	348,212.01
森林率(%)	53.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	14	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	危険木伐採事業	4,461,150	4,409,500		4,409,500			
2	2	未利用間伐材バイオマス利用 推進事業	180,150	180,150		180,150			
3	2	人家裏危険木伐採事業	1,350,000	1,350,000		1,350,000			
4	3	森林環境教育推進事業	100,000	100,000			100,000		
5	4	学校林整備事業	400,000	400,000				400,000	
6	5	森林公園等環境活用整備事業	300,000	300,000					300,000
7	5	桜並木保全管理事業	400,000	400,000					400,000
8	5	国定公園環境整備事業	1,035,000	1,035,000					1,035,000
		基金積立	3,000,000	3,000,000					3,000,000
計			11,226,300	11,174,650	0	5,939,650	100,000	400,000	1,735,000

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	11.91ha	4,400,000	4,400,000	間伐作業（滝之原、赤目町一ノ井、中知山、青蓮寺、神屋 地内）
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	名張市は、周囲を山々に囲まれた山間盆地であり、林野率は52.7%、人工林率は65.0%で、森林の主体をなす私有林においては、5ha未満の所有者が全体の52.1%を占めている。特に、南部は森林資源が豊富で、かつては優良な木材を産出する地域であったが、最近の社会情勢の変化に伴い伐採適齢期を過ぎても放置されている森林が急増し、里山としての利用すらほとんどなくなっている。 しかし、森林の持つ多様な公益的機能は市民にとってかけがえのない財産であり、名張市が目指そうとする「福祉の理想郷づくり」には欠かせない重要な要素であることから、森林の機能低下を防ぎその向上を図るため、災害に強い森林づくりとして森林整備を進めるとともに、市民が森と緑に触れ合う機会を創出し、森を育む人及び学びの場づくりを進める。
事業実施により期待される効果	「災害に強い森林づくり」に沿った事業の実施により、あまり手入れされることがなく放置され、市民の生活圏を脅かしていた森林が整備されたことで、市民がより安心して暮らせるようになる。また、森林への関心が高まる今日、「県民全体で森林を支える社会づくり」に沿った事業の実施により、森林環境教育を推進し、次代を担う子どもたちが森林や緑に対する関心を深めることで森林の重要な役割に気付くきっかけづくりとなる。
情報発信への取組	事業内容やその成果については広報誌及びHP、ラジオ放送により、広く市民に周知している。また、事業実施現場にはのぼり旗や看板を設置することで、みえ森と緑の県民税の存在を最大限周知できるよう努めた。さらに小学校関連の事業については、教員、保護者、地域住民等もボランティアスタッフ等として広く参加を呼び掛けて実施し、財源にはみえ森と緑の県民税が活用されていることを周知した。 その他、3月上旬から始まる確定申告にあわせ、名張市役所1階にみえ森と緑の県民税に関するパネルを展示した。また、パネル展示に併せてみえ森と緑の県民税に関するアンケートを設置し、回答いただいた方にクリアファイル・ハンカチ等のグッズを配布することで、市庁舎を訪れる大勢の方に向けて県民税の周知を行い、アンケート結果から今後の事業改善につなげていくことに努めた。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・家屋背後斜面の伐採にあたっては、伐採高さを膝丈などにし、伐採斜面からの土砂流出への配慮が必要。 ・未利用間伐材バイオマス利用推進事業について、未利用木材の活用のため良い事業である。 ・森林環境教育推進事業について小学生を対象とした教育は重要であり、費用対効果についても妥当である。 ・学校林整備事業について、学校林が整備され学習に使われることの有効性は大きい。 ・基金化して積み立てている点が目を惹く。我が国全体として人口（納税者）は減りつつあり物価は上がりつつあるので、同じ行政サービスを提供し続けるには、基金化は良いアイデアであると思われる。予算規模の割に取り組みも多いと感じる。情報発信がほぼ従来型の媒体に依存しているが、年少人口割合も高めではあるので、若者の目に触れる媒体の活用にも取り組まれると良いと思う。 ・みえ森と緑の県民税についてのHPが、R4年度以降更新されていません。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
2	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	2.8	C
3	2	人家裏危険木伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
4	3	森林環境教育推進事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.0	B
5	4	学校林整備事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.0	B
6	5	森林公園等環境活用整備事業	3.0	B	2.8	C	3.0	B	2.8	C
7	5	桜並木保全管理事業	3.0	B	2.8	C	3.0	B	2.8	C
8	5	国定公園環境整備事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	2.8	C
		基金積立	—	—	—	—	—	—	—	—

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

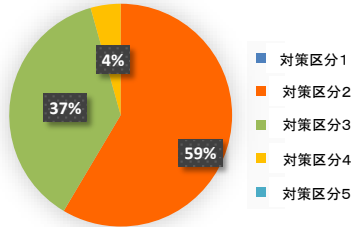
市町名	伊賀市	三重県
人口（人）	84,009	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	10.1%	11.4%
森林面積(ha)	33,870.24	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	32,565.94	348,212.01
森林率(%)	61.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	12.6	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	みんなの里山整備活動推進事業	7,417,002	7,417,002		7,417,002			
2	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	2,410,560	2,410,560		2,410,560			
3	2	危険木伐採事業	891,000	891,000		891,000			
4	3	伊賀の森っこ育成推進事業	4,169,574	4,169,574			4,169,574		
5	3	地域の森と緑のつながり支援事業	147,558	147,558			147,558		
6	3	森のやすらぎ空間整備事業（伊賀の木活用人材育成）	500,000	500,000			500,000		
7	3	木づかい木育推進事業	1,978,934	1,978,934			1,978,934		
8	4	幼児教育・保育施設木製遊具整備事業	796,950	796,950				796,950	
計			18,311,578	18,311,578	0	10,718,562	6,796,066	796,950	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	255箇所、38.41ha	18,348,000	18,348,000	現地調査及び間伐実施
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	
県民参加の植樹祭事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	当市の森林面積率は61％であり、周囲が森林に囲まれた立地にある。そのような背景を踏まえ、災害に強い森林づくりと住民全体で森林を支える仕組みづくりの両立を図ることが必要であることから、暮らしに身近な森林を住民自らの手で整備する事業を推進するとともに、木育を始めとして森林や緑を大切に思う人づくりに繋がる教育活動を支援する事業を推進している。
事業実施により期待される効果	みんなの里山整備活動推進事業では、事業を通して地域の山林として位置づけることで、維持管理する方向性が地区等で広がっている。また伊賀の森っこ育成推進事業においては、子ども達が森のはたらきや林業について学習することができ、森林環境や木材等に関して知識理解を深めることにつながっている。幼児教育・保育施設への木製遊具整備事業では、幼児期に木製遊具に触れることで木の温もりを実感することができ、木とふれあい、木製遊具で遊ぶことで、五感を刺激し感性を磨き、好奇心・集中力を高める効果が期待される。
情報発信への取組	【みんなの里山整備・地域の森と緑つながり】各市民センターへのメール送付により事業の周知を行った。【伊賀の森っこ育成】校長会で事業の周知を行った。【木づかい木育推進】によるフォトフレーム配布及び学校へのお箸のキット配布の際に、木育・森林・本県民税のことでアンケートを実施した。・「みえ森と緑の県民税」の各事業における市の活用例について市のホームページへ掲載をした。また本県民税ののぼり旗、ミニのぼりを制作し、各地域・学校での事業実施日に立てていただき、地域住民等への周知を依頼した。農林振興課窓口へのミニのぼりの設置に併せ、本県民税パンフレットを配置した。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・ 1 の事業について、34団体の活動状況を示す説明。 ・ 3 の事業について、危険木に○などで囲い分かるように表示をして下さい。	
・ みんなの里山整備活動推進事業について、他の地域には見られない自治会を巻き込んだ事業となっており、自治会を通して多くの県民が事業成果・事業効果を知ることができるため優れている。 ・ 未利用間伐材バイオマス利用推進事業において、名張市でも取組まれているが排出量としては伊賀市の方が多く事業としても優れている。 ・ 伊賀の森っこ育成推進事業において、伊賀市内ほぼ全ての小中学校が対象となっており、小学生に対する森林教育の効果は大きい。	
・ 危険木の伐採に関し、地域ボランティアに担ってもらい、その活動支援費を拠出する点は、地域の山林としての位置づけという意味で、素晴らしい取り組みであると評価できる。未利用間伐材の搬出への助成も、必要なことだと感じられる。未利用間伐材の筋工利用もご一考願いたい。取り組みが多様である点も評価できる。情報発信がほぼ従来型の媒体に依存しているが、年少人口割合も高めではあるので、若者の目に触れる媒体の活用にも取り組まれると良いと思う。	
・ 多彩な取り組みが行われおり、税が有効に使用されていると感じます。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	みんなの里山整備活動推進事業	3.5	A	3.5	A	3.5	A	3.0	B
2	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
3	2	危険木伐採事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	2.8	C
4	3	伊賀の森っこ育成推進事業	3.5	A	3.3	B	3.5	A	3.3	B
5	3	地域の森と緑のつながり支援事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
6	3	森のやすらぎ空間整備事業（伊賀の木活用人材育成）	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.3	B
7	3	木づかい木育推進事業	3.0	B	3.3	B	3.3	B	3.3	B
8	4	幼児教育・保育施設木製遊具整備事業	3.5	A	3.3	B	3.3	B	3.0	B

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

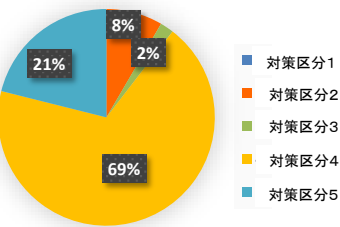
市町名	尾鷲市	三重県
人口（人）	14,713	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	7.8%	11.4%
森林面積(ha)	17,694.96	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	14,925.81	348,212.01
森林率(%)	92.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	6.7	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	人家裏危険木伐採事業	753,600	753,600		753,600			
2	3	尾鷲ヒノキを活用した保育園児等への山育事業	181,531	181,531			181,531		
3	4	クツプを用いた地元産材に触れ合う場の創出事業	951,191	951,191				951,191	
4	4	尾鷲中学校学習机・椅子整備事業	4,787,640	4,787,640				4,787,640	
5	4	木とふれあう学校環境づくり事業	99,000	99,000				99,000	
6	4	木とふれあう保育環境づくり事業	291,500	291,500				291,500	
7	5	森と野鳥の学びの場づくり事業	407,000	407,000					407,000
8	5	中村山公園ほか整備事業	1,481,700	1,481,700					1,481,700
計			8,953,162	8,953,162	0	753,600	181,531	6,129,331	1,888,700

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	近年では、災害による被害が拡大傾向にあるうえ、尾鷲市は住宅地と森林が隣接しており、山地災害が市民生活に直結することから、災害に強い森林づくりは大変重要なものであると考えている。また、危険木等を伐採したままにするのではなく、園児や児童、生徒への木育の機会を設けるツールとして利用することとし、災害対策と森林教育推進の観点から事業の選定を実施している。
事業実施により期待される効果	人家裏や公園の危険木伐採は、災害に強い町づくりの推進に一定の効果が得られたと考えており、この点については、事業実施後の住民の反応や声をみても、いずれも好意的なものであったため、安心安全の確保に効果があったと感じている。また、市内中学校へ地元産材で作った机、椅子を導入することにより、地元産材がどのような工程を経て机、椅子になったかを学習する良い機会になったと感じている。保育、教育の現場に地元産材でつくられた木製品を導入したり、地域の木や自然とふれあう場を創出することで、地域の自然環境や林業への理解を深めるとともに、地元産材の利活用について学習する機会となった。
情報発信への取組	県民税を活用した取り組みについては、市ホームページで事業計画を掲載しているほか、毎年、市広報誌6月号において、前年度の実績と当年度の計画の概要を掲載するとともに、広く市民に県民税の趣旨である「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」の重要性について周知を図っている。 また、体験イベントの際には、開催チラシや導入した机・椅子などの備品に、県民税のロゴマークを貼付し、それぞれの取り組みに「みえ森と緑の県民税」が活用されていることを周知した。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・広報誌やHPで事業年度の初めに取り組みを紹介し、事業年度後に実績を報告されているのがいいです。添付されている画像も分かりやすく評価（判断）しやすいです。 危険木除去事業は、実施場所の地図等が添付されると、この事業の必要性がより高まると思います。桂ヶ丘地区は写真だけでは人家裏かどうかの判断ができませんでした。 尾鷲ヒノキを活用した保育園児等への山育事業は、保護者への波及効果も期待できると思います。クップは今後の普及に期待しています。宮之上小学校と賀田小学校での天板研磨は費用対効果が高いと思います。広く波及していくことを期待したいです。 中村山公園は、学校も近く地域にとって重要な避難場所のため地域の方々の声を活かした継続的な整備が求められると思います。	
・情報発信度について 「2 尾鷲ヒノキを活用した保育園児等への山育事業」では「園だより」に掲載していただいたようですが、他の学校では学校だよりや学年通信などに掲載していただいたでしょうか。 子どもたちの活動の様子や学校で子どもたちが使う机などの備品については、保護者の大きな関心事だと思うので、県民税を使っていることや県民税の使い道として、このような事業があることを掲載していただけると、県民税の使途の周知につながると思います。 情報発信の対象が限定的と思われるかもしれませんが、漠然と見ていては記憶に残らないものも、自分や自分の子どもとの関連(自分事)で目に入れば、県民税についての理解を深める効果が高いと思うのです。 HP掲載、広報誌掲載、標柱の設置やロゴマークをつけるなど、いろいろやっておられることは評価に値すると思っていますが、今後はこのような地道な情報発信も少しずつ取り入れていただければと思います。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	人家裏危険木伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
2	3	尾鷲ヒノキを活用した保育園児等への山育事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.3	B
3	4	クップを用いた地元産材に触れ合う場の創出事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
4	4	尾鷲中学校学習机・椅子整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	2.7	C
5	4	木とふれあう学校環境づくり事業	3.0	B	3.3	B	3.0	B	3.0	B
6	4	木とふれあう保育環境づくり事業	3.0	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
7	5	森と野鳥の学びの場づくり事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
8	5	中村山公園ほか整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

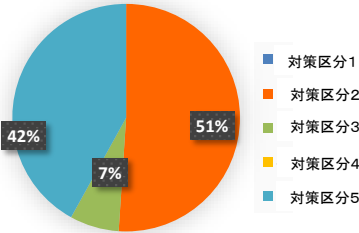
市町名	紀北町	三重県
人口（人）	13,288	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	7.0％	11.4％
森林面積(ha)	22,931.86	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	18,007.88	348,212.01
森林率(%)	89％	64％
都市公園面積（㎡/人口）＊3	56.7	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木伐採事業	5,401,000	5,401,000		5,401,000				
2	2	集落周辺森林（里山）整備事業	200,000	200,000		200,000				
3	3	森林環境教育活動支援事業	766,636	766,636			766,636			
4	5	緑の植樹活動事業	6,557,510	4,604,364					4,604,364	
計			12,925,146	10,972,000	0	5,601,000	766,636	0	4,604,364	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	6.04ha	4,232,135	4,232,135	等高線並べの間伐による緩衝林化
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	
県民参加の植樹祭事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	町民の安全・安心を守る暮らしに身近な森林づくりと、次世代を担う子どもたちが森林の大切さを学ぶ機会の創出
事業実施により期待される効果	危険木伐採事業では、事業実施主体である各区の森林管理の意識の向上が見られ、補助金活用の要望が増加し、集落周辺里山整備事業では事業主体の森林整備を行う様子や、新たな林内歩道が整備されている様子をSNS等で広く周知することで、整備を行った森林へ入る住民の安全性の向上が図られた。 また、森林環境教育では山、川、海を森林を起因とした一つのフィールドととらえ「紀北ネイチャラボ」を実施し、参加した生徒らの自然に対する興味、関心と危険性の認知の向上が図られ、緑の植樹活動事業では植樹イベントへ参加した町民及び来訪者等に緑を身近に感じる機会の創出を図り、森林に対する興味、関心が高まった。
情報発信への取組	紀北パーキングエリア内の始神テラスの一角や、町内イベントブースに展示スペースを設け事業成果を示したパネル展示や、ノベルティの配布を行った。また、町民向けの行政放送テレビチャンネルで県民税について取り扱いを行い、事業実施地にはPR用の木製標柱を設置した。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・危険木伐採事業では各自治会ごとに伐採本数が示されており分かりやすいです。 危険木除去事業や、集落周辺森林整備事業は実施場所の地図等が添付されると、この事業の必要性がより高まると思います。登山道の整備は、登山者の安全確保と利用人数増につながり経済効果ももたらすのではないのでしょうか。森林環境教育は子どもたちにもよい影響を与えたいと思います が学校側の評価も記載してはどうでしょう。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木伐採事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
2	2	集落周辺森林（里山）整備事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
3	3	森林環境教育活動事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
4	5	緑の植樹活動事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

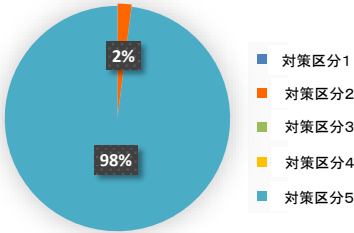
市町名	熊野市	三重県
人口（人）	14,598	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	9.2%	11.4%
森林面積(ha)	32,942.33	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	29,628.77	348,212.01
森林率(%)	88.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	12.8	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						基金積立
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	2	小・中学校危険木伐採・枝切事業	275,000	275,000		275,000				
2	5	森とふれあいの場拠点づくり事業	13,440,900	13,440,900					13,440,900	
計			13,715,900	13,715,900	0	275,000	0	0	13,440,900	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費（円）	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	18.20ha	11,475,200	11,475,200	災害緩衝林実施箇所周辺の調整伐
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	熊野市の地勢は内陸に向かうに従って紀伊山地の急峻な山地となり、森林面積は総面積の88%を占めている。また、民有林面積は29,624haと全森林の約90%を占め、うち人工林は22,921haと県下でも有数の林業地域である。しかしながら、林業を取り巻く環境は木材の長期的な低迷に加え、担い手の減少、林業従事者の高齢化、生産基盤の立ち遅れ等が極めて厳しく、このまま推移すれば森林の整備水準の低下等により公益的機能が十分に発揮されないなど、住民生活への影響が懸念されている。そのため、「災害に強い森林づくりと環境林の保全」という熊野市森林・林業ビジョンの基本方針の1つに沿って、防災機能の強化による安全・安心の実現、里山林整備と奥地天然林や溪畔林の保全、身近な森林の恵みを活用する環境づくりなど、森林が与えてくれるさまざまな恩恵を評価した上で、森林と積極的に付き合っていく取組を展開していく。令和6年度については、地元住民や観光客など多くの利用がある校庭や遊歩道など、日常生活における利用の際はもちろん、台風襲来や地震発生など有事の際にはより一層危険を及ぼすおそれのある枯損木や支障木を除去することにより、木々の防災機能の強化による安全・安心な暮らしの実現に向けて事業を実施した。また同時に、多くの利用者が継続して利用し続けている身近な熊野古道や森林公園のほか、街路樹や集落内の緑に対し、多くの利用者・来訪者に緑を身近に感じてもらう環境づくりの取組を進めた。
事業実施により期待される効果	市が公益性の判断で実施する事業には特定機能の維持を図るもののほか、生活道路や施設の利用者など多くの人々に効果を及ぼすものが多く、県民税事業を行うことにより、安全・安心に地元の森林や自然とふれあう環境を整備することができ、市民だけでなく市への来訪者にも恩恵を受けてもらう。
情報発信への取組	事業実施の際にはのぼりや看板によって県民税のPRを行っているが、広い市域の中であって事業箇所が点在しており、利用者の目にふれる機会が少ないことから、市のホームページに事業の計画と実績の紹介へ市の玄関口であるJR熊野市駅や市街地に近い市文化交流センターにおいて例年パネル展示を行っている。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・学校のような場合、危険木伐採で、ただ木を伐るだけでよい。樹木のなくなったところでの環境実習をみると何か足りないようにみえる。 ・暮らしに身近な森林づくりにおいて、学校における危険木の伐採剪定の必要性は高い事業。 ・遊歩道整備に力が入れている。地域イベントへの利用を促している点は評価できる。クマノザクラなど地域が誇る樹種の導入は次年度から意識されると良いと思う。用途の範囲が狭く感じられるが、挙げてある事業に環境学習などが含まれているように写真からは理解できる。 ・単に危険木を伐採するだけでなく、森林環境実習に活用されていることは評価できます。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	小・中学校危険木伐採・枝切事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
2	5	森とふれあいの場拠点づくり事業	3.5	A	3.0	B	3.5	A	3.3	B

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

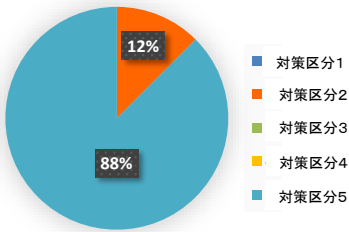
市町名	御浜町	三重県
人口（人）	7,580	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	9.7%	11.4%
森林面積(ha)	5,696.85	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	5,603.74	348,212.01
森林率(%)	65.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	22.0	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	町道危険木伐採事業	872,000	872,000		872,000			
2	5	森林公園等環境整備事業	6,105,000	6,105,000					6,105,000
計			6,977,000	6,977,000	0	872,000	0	0	6,105,000

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
本町は、県南部に位置し、東部は雄大な太平洋熊野灘に面した海岸線沿いには、比較的平坦な低地が広がりますが、内陸部では山岳地帯を形成しており、人工林率は71%と県平均の62%を上回っていて、かつては積極的に植林がされてきた地域です。しかし林業経営の悪化などから森林への関心は薄れ、適切な整備がされず森林が持つ公益的機能が十分に発揮でいる状態ではない森林も見受けられます。 このことを踏まえ、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、小中学校内や町道沿線の危険木の伐採や枝下ろしを行うことで町民の生活環境等の保全や向上を図り、「災害に強い森林づくり」を進めます。また、不特定多数の人が集まる町内の地元産品販売所等への木製備品配置を支援するとともに、森林公園等のフィールド整備を行うことで住民が木や緑とふれあう環境を身近なものにし、木の良さや木を使うことが森林整備につながることの重要性を広くPRしていく「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めます。
事業実施により期待される効果
町民や来訪者に利用される遊歩道及び公園を整備することで、多くの人が森林や緑と触れ合う機会をつくることができました。寺谷総合公園を遠足先とする小学校もあり、また家族の利用者も多いため、地域の子供たちが森林にふれる環境をつくることができました。
情報発信への取組
町民や施設利用者へ県民税を活用して整備が行われていることを周知するため、作業期間中に県民税ののぼり等の設置、庁舎内でのパネル掲示、広報掲載などを行った。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・ 1 の事業について、どれが危険木が分かるように写真に○印などの表示をして下さい。 ・ 2 の事業について、写真のなかで、場所が書いてあるだけでするので、事業名を記入して下さい。 ・ クマノザクラ植栽は印象的であり、推奨される。その植林祭を小学生対象に行ったことも、地域の活性を長期的に支える活動に属すると評価できる。 ・ 情報発信について、町のHPに掲載されるなどを検討されてはどうかと思います。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	町道危険木伐採事業	3.3	B	3.0	B	3.3	B	2.8	C
2	5	森林公園等環境整備事業	3.5	A	3.3	B	3.5	A	3.0	B

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

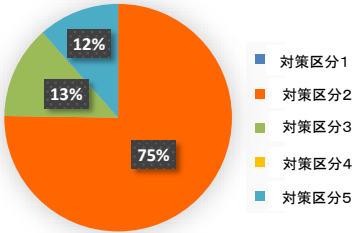
市町名	紀宝町	三重県
人口（人）	9,771	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	10.9%	11.4%
森林面積(ha)	6,071.30	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	6,026.59	348,212.01
森林率(%)	76.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	8	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	生活環境林整備事業	5,726,500	5,696,038		5,696,038				
2	3	森と緑の環境教育事業	1,000,000	1,000,000			1,000,000			
3	5	木質整備事業	874,962	874,962					874,962	
計			7,601,462	7,571,000	0	5,696,038	1,000,000	0	874,962	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	0.92ha	1,009,800	1,000,000	災害緩衝林実施箇所周辺の調整伐、調査
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	みえ森と緑の県民税市町交付金においては、森林環境譲与税を財源とした森林施策とすみ分けをおこないながら、町の森林主要施策としての重要財源と位置づけて活用していく。
事業実施により期待される効果	当町が公益性の判断のもと実施する事業においては、特定機能の維持を図るもののほか、生活道路や施設の利用者など多くの人々に影響を及ぼすものが多く、町民のみならず周辺の県民が恩恵を受けている。
情報発信への取組	各種集客イベントの際、県民税のPRをチラシの配布により行っている。また、のぼり旗の掲示も行った。その他、町ホームページ、役場庁舎内においてのパンフレットの配布などを実施。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・支障木伐採と称して、急傾斜の斜面での伐採を全面的に行っているところでは、土砂崩れ、土砂流出の危険性が生ずる。今後は、事前に県と協議・調整が必要ではないでしょうか。 ・森と緑の環境教育事業について受講した人数が多いが、年齢層が比較的高いように見受けられる。長期的な視点として若年層も交えた教育を行って欲しい。 ・ワークショップ、映画上映などで教育事業に工夫がみられる。森林率が高めで、整備事業に予算が使われていることは理解できる。キャンプ場の整備は、町外からの人の呼び込みが町を潤し、普段は森林と接触しない人に対して、森林との接点として役立つ投資であると理解できる。 ・情報発信について、町のHPに掲載されるなどを検討されてはどうかと思います。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	生活環境林整備事業	3.0	B	2.8	C	3.0	B	3.0	B
2	3	森と緑の環境教育事業	3.0	B	3.3	B	3.5	A	3.3	B
3	5	木質整備事業	3.0	B	3.0	B	2.8	C	3.0	B